一般社団法人
生命保険協会

企業価値向上に向けた取り組みに関するアンケート
集計結果一覧（2020年度版）

企業様向けアンケート

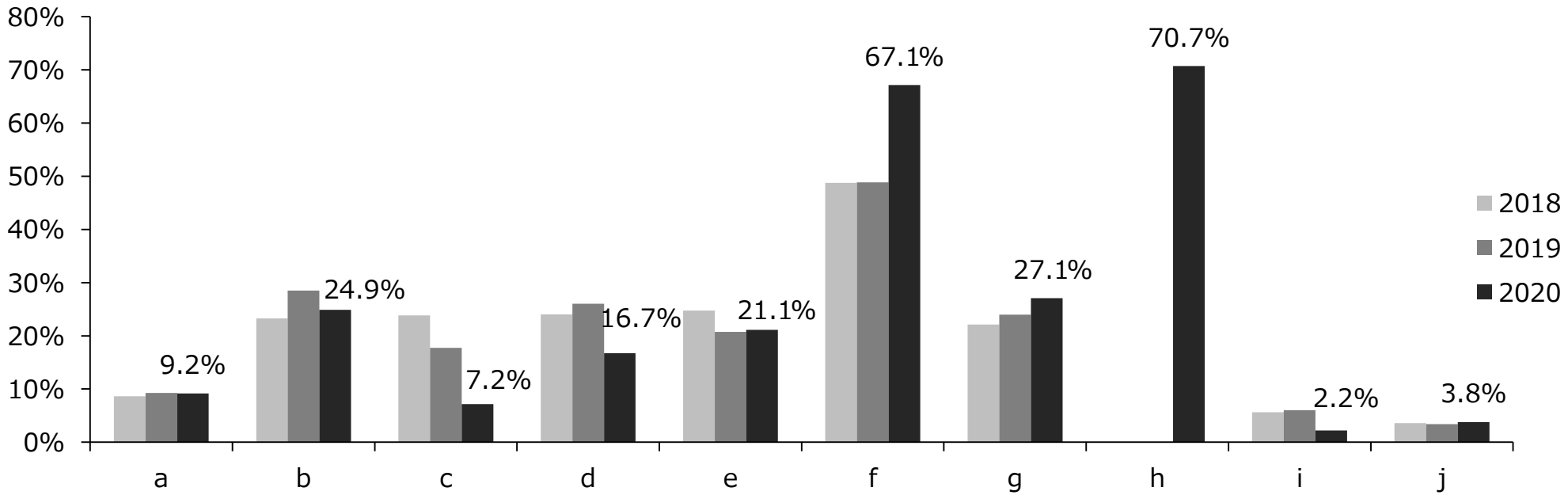
※無回答を除いた有効回答数で算出しております。
※比較の都合上、企業・投資家それぞれのアンケート資料と本資料とでは、
　選択肢が異なっている設問があります。

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（1） 持続的な成長と中長期的な株式価値向上の観点から、課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答え下さい。
（3つまで選択可）

a. 機関設計
b. 取締役会の人数・構成
c. 経営陣幹部の選解任手続き(※1)
d. 役員報酬決定体系
e. 投資家との対話方針
f. 経営計画・経営戦略
g. 情報開示
h. ESG・SDGsへの取り組み(※2)
i. 特段なし
j. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:502,2019年度:530,2018年度:533）

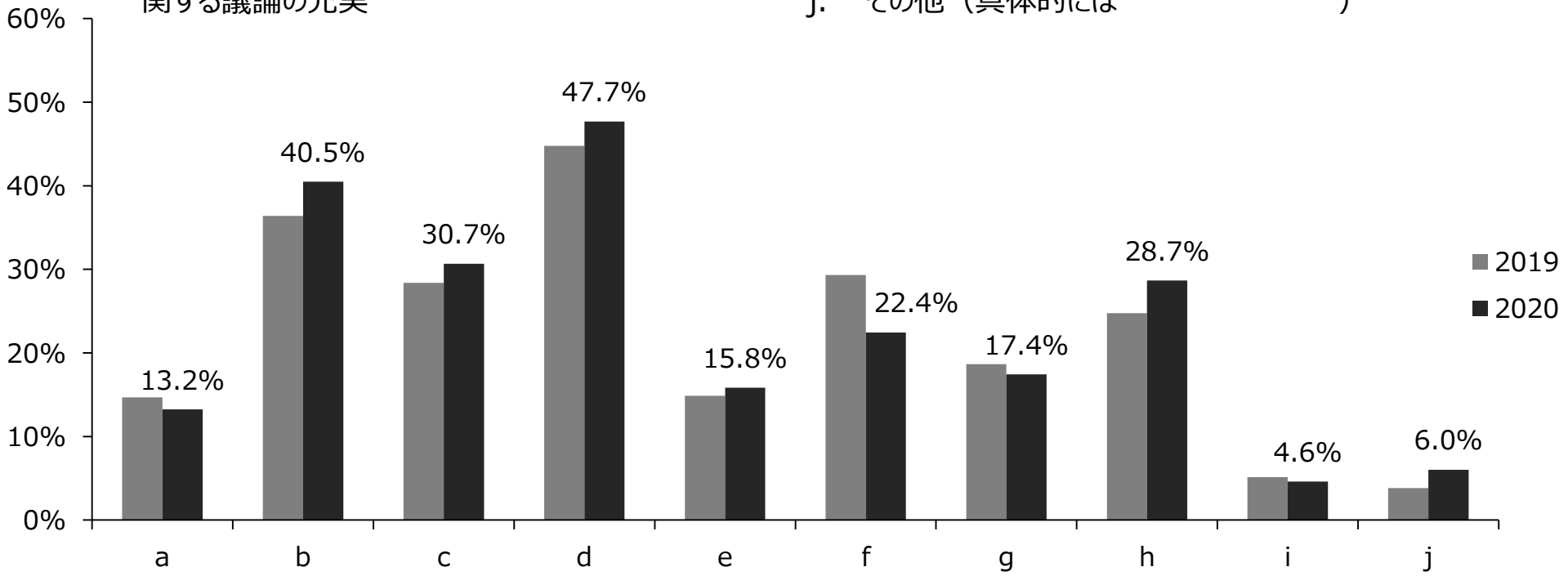
「その他」の回答例：取締役会の実効性の評価、海外子会社を含めたグローバルなガバナンス体制の構築、経営陣幹部の後継者計画の策定
(※1)「経営幹部の指名手続き」(2019年度)から変更　(※2)2020年度より追加

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（2）取締役会の実効性向上に向けて、現時点で課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 独立した社外役員の拡充
b. 取締役会全体の経験や専門性のバランスやジェンダー・国際性等の多様性の確保
c. 社外役員が機能発揮できる環境整備
d. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実
e. 投資家意見の取締役会へのフィードバック
f. 取締役会議題の事前説明の充実
g. 取締役に対するトレーニング
h. 取締役会の実効性評価
i. 特段なし
j. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:499,2019年度:525）

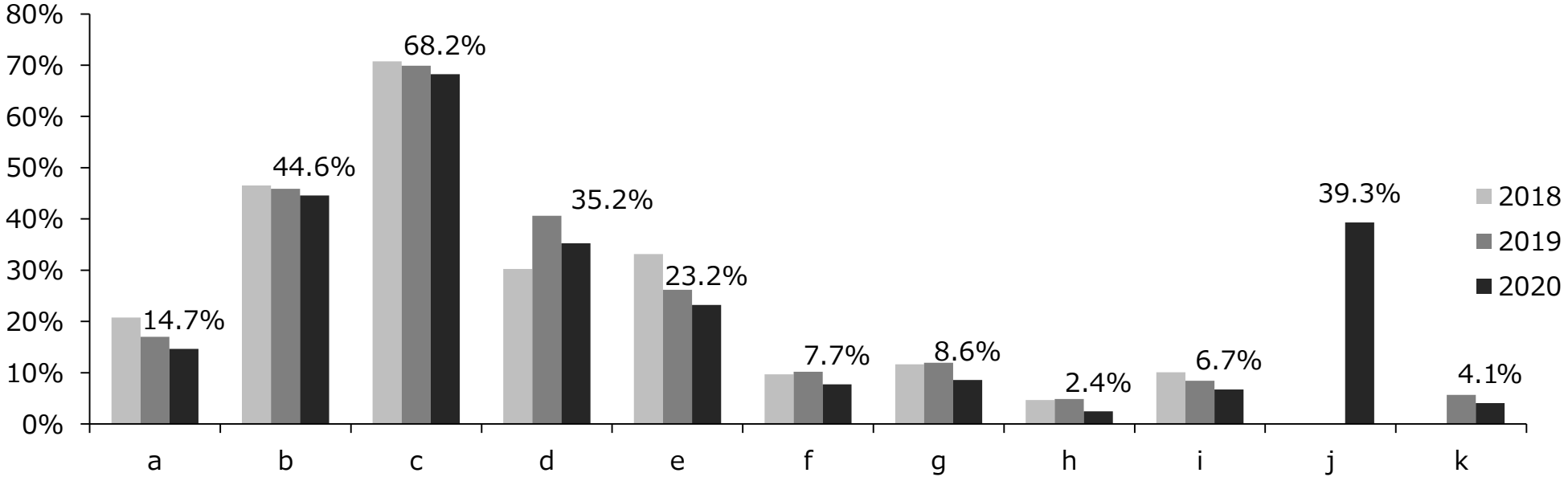
「その他」の回答例：中長期的な資本政策に関する議論の深化、内部統制システムへのモニタリング強化、執行役サイドとの対話の充実

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（3）取締役会の議題として、今後より重点的に取り上げたいテーマをお答え下さい。
（3つまで選択可）

a. 決算・業績の進捗・振り返り
b. 経営目標・指標の適切性
c. 経営戦略立案
d. リスク管理
e. コーポレート・ガバナンス体制
f. 投資家との対話内容
g. コンプライアンス関連
h. 役員報酬
i. 人事・人材管理
j. ESG・SDGsへの取り組み(※)
k. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:491,2019年度:512,2018年度:516）

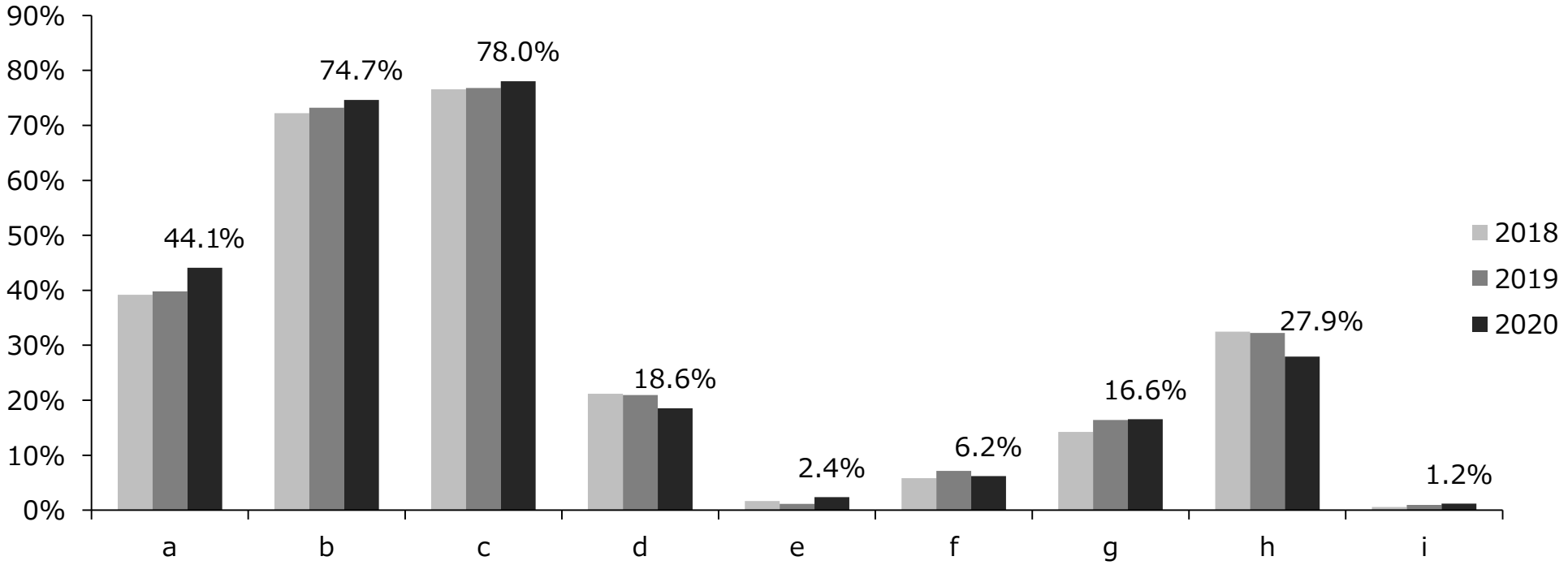
「その他」の回答例：中長期的な経営戦略、事業ポートフォリオの適正化、グループ/グローバルガバナンス
(※)2020年度より追加

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（4）社外取締役に期待している役割の中で特に重要だと感じるものをお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言
b. 経営執行に対する助言
c. 経営戦略、重要案件等に対する意思決定を通じた監督
d. 不祥事の未然防止に向けた体制の監督
e. 投資家との対話
f. 利益相反行為の抑止
g. 少数株主をはじめとするステークホルダーの意見を経営に反映
h. 会計や法律等の専門家としての助言
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:501,2019年度:530,2018年度:533）

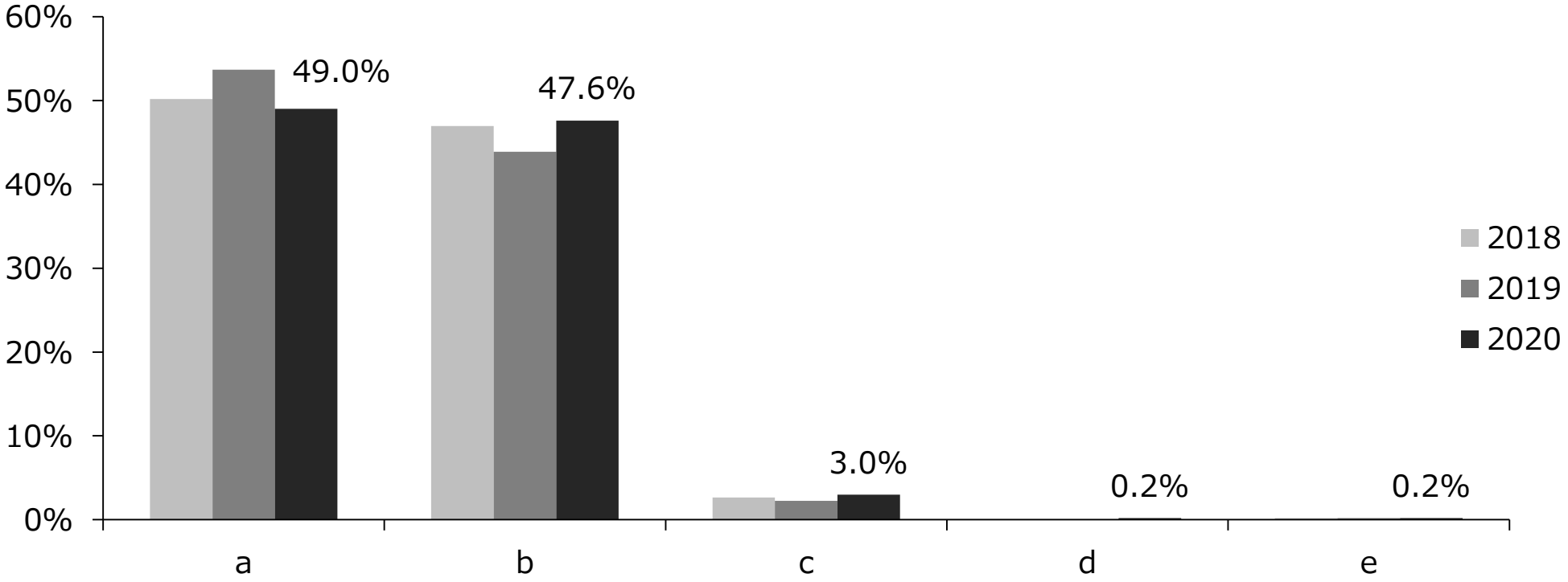
「その他」の回答例：執行役の職務執行状況報告を通じた監督

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（5）社外取締役を選任している企業にお伺いします。（4）で回答頂いた社外取締役に期待している役割は、現状果たされているとお考えですか。（1つのみ選択可）

a. 期待どおり十分に果たされている
b. 一定程度果たされている
c. 不十分であり、改善の余地がある
d. 全く果たされていない
e. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:500,2019年度:531, 2018年度:528）

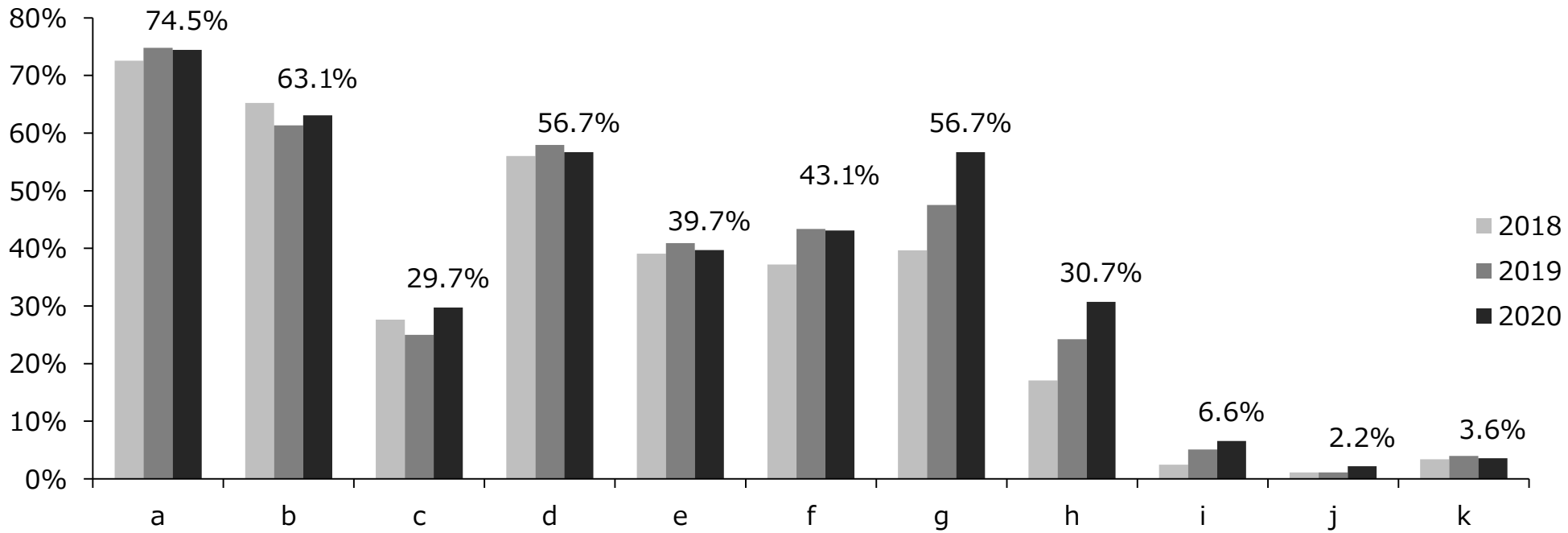
「その他」の回答例：具体的な回答なし

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（6）社外取締役を選任している企業にお伺いします。社外取締役の機能発揮に向けて実施している取り組みをお答え下さい。（複数選択可）

a. 社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実
b. 社外取締役の独立性の確保
c. 社外取締役の経営会議・執行役員会議等への出席
d. 社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施
e. 社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施
f. 経営理解促進を目的とした取り組みの実施
g. 指名・報酬等の検討を行う諮問委員会の活用
h. 社外取締役の取締役会における比率向上
i. 投資家との対話
j. 特段なし
k. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:501,2019年度:528, 2018年度:532）

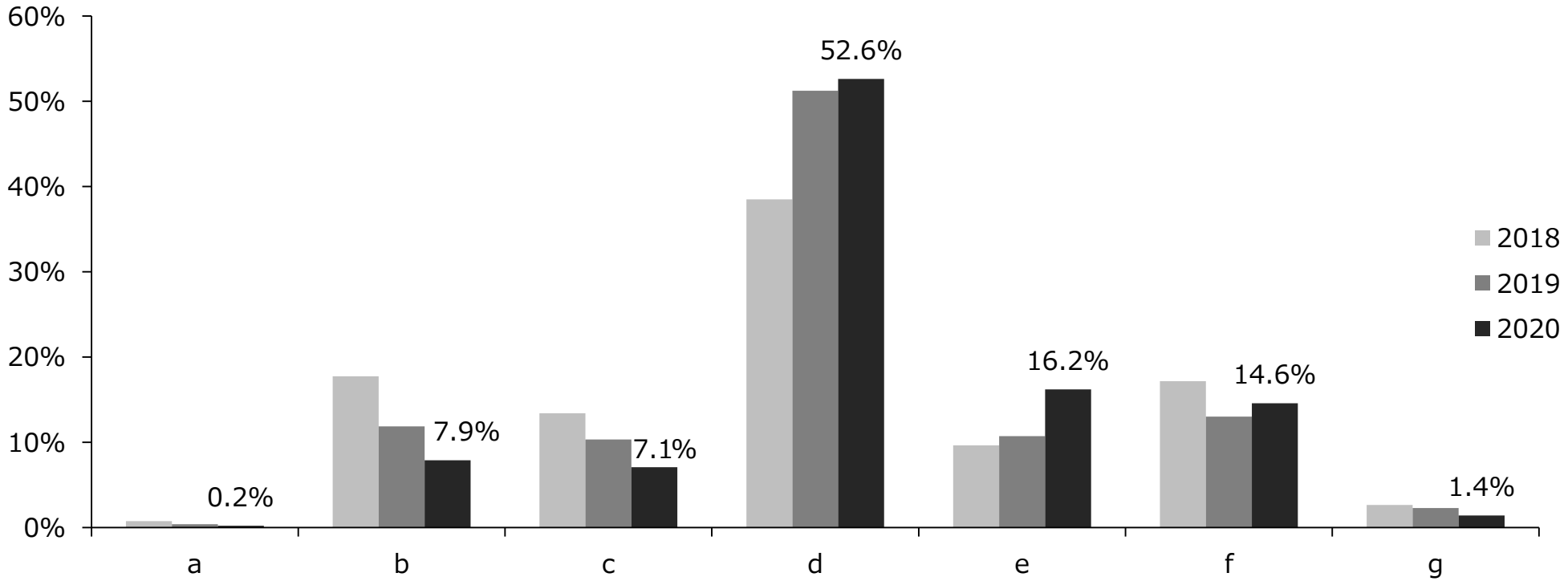
「その他」の回答例：社外取締役と社長・執行部門との意見交換会の実施、経営会議資料等の共有

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（7）社外取締役の人数・取締役会に占める比率について、中長期的に望ましいと思う水準をお答え下さい。（1つのみ選択可）

a. 1名以上
b. 2名以上
c. 3名以上
d. 取締役会の1／3以上
e. 取締役会の1／2以上
f. 数・比率には拘らない
g. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:494,2019年度:523,2018年度:530）

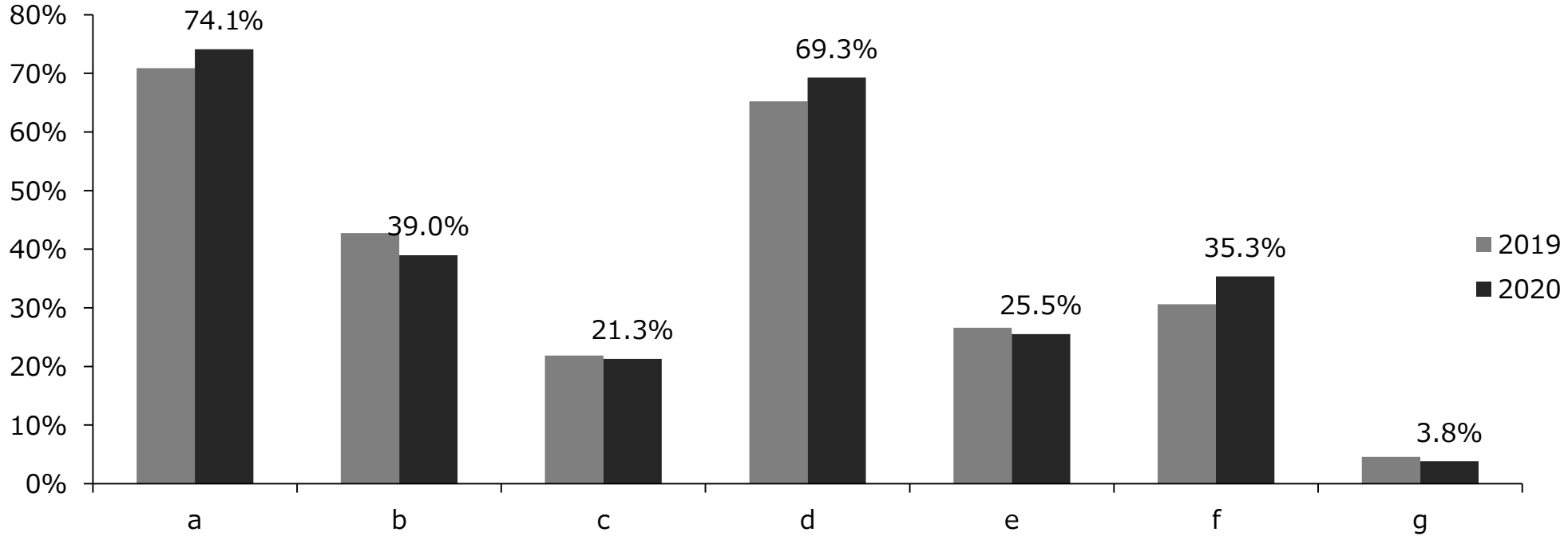
「その他」の回答例：数・比率よりもガバナンスの実効性を重視

一般社団法人 生命保険協会

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

（8）社外取締役に求める経験・スキル・属性等をお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 企業経営者としての経験
b. 自社の業界知識・ビジネスへの理解
c. 海外ビジネス経験・知見
d. 専門分野の知見（財務・会計・法務等）
e. 自社からの独立性
f. 多様性（ジェンダーや国際性等）
g. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:498,2019年度:526）

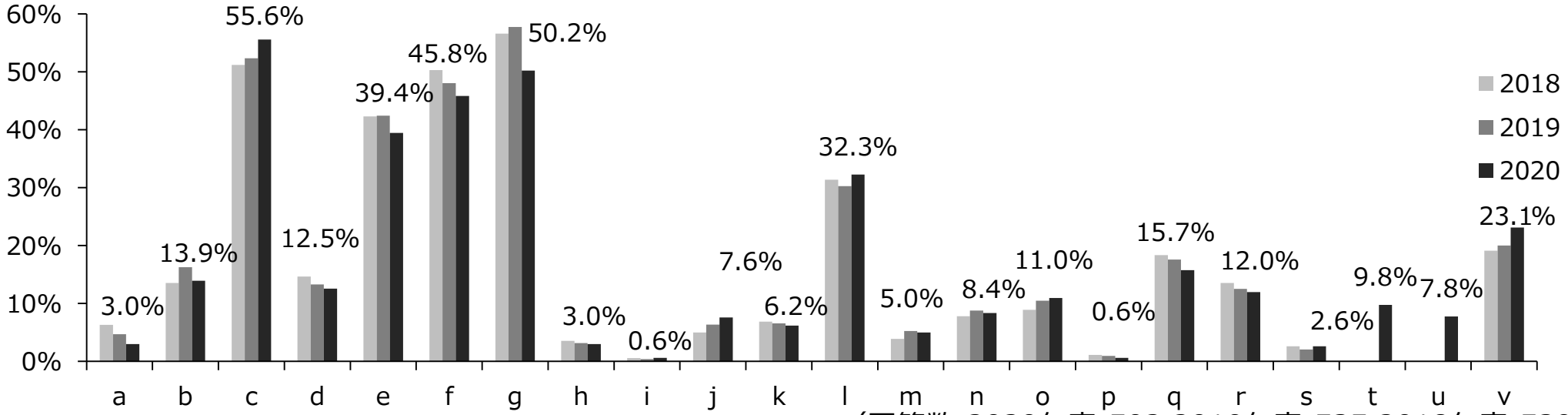
「その他」の回答例：異業界の知見を活かせること、出身分野における高い見識

一般社団法人 生命保険協会

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

（1）中期経営計画において公表している重要な成果指標（KPI）を全てお答え下さい。（複数選択可）

a. 中期経営計画を公表しているが、KPIは公表していない
b. 中期経営計画を公表していない
c. ROE（株主資本利益率）
d. ROA（総資本利益率）
e. 売上高利益率
f. 売上高・売上高の伸び率
g. 利益額・利益の伸び率
h. 市場占有率（シェア）
i. 経済付加価値（EVA®）
j. ROIC（投下資本利益率）
k. FCF（フリーキャッシュフロー）
l. 配当性向（配当/当期利益）
m. 株主資本配当率（DOE）（DOE=ROE×配当性向）
n. 配当総額または1株当たりの配当額
o. 総還元性向（（配当＋自己株式取得）／当期利益）
p. 配当利回り（1株当たり配当／株価）
q. 自己資本比率（自己資本／総資本）
r. DEレシオ（有利子負債／自己資本）
s. 資本コスト（WACC等）
t. E（環境）に関する指標（CO2排出量等）（※）
u. S（社会）に関する指標（女性管理職比率等）（※）
v. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:502,2019年度:535,2018年度:539）

「その他」の回答例：EBITDA、有利子負債/EBITDA倍率、EPS、営業CF
(※)「ESG取り組みに関する指標（CO2排出量、女性管理職比率等）」という項目を2020年度は2項目に分割。(2018年度：4.8%、2019年度：9.7%)

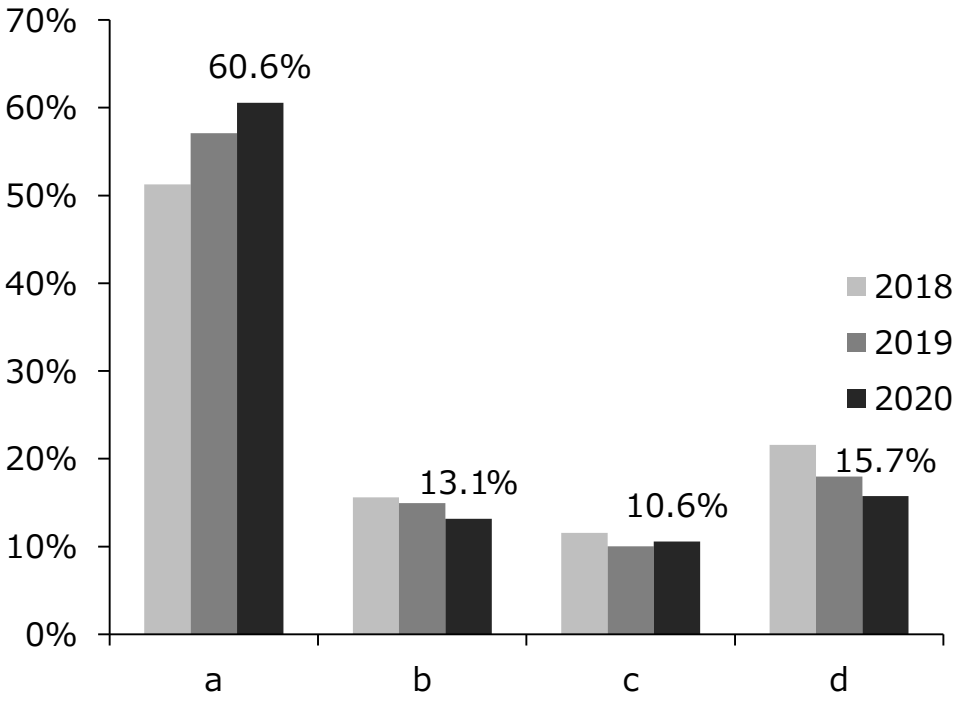
一般社団法人 生命保険協会

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

（2）①ROEの目標値を設定・公表していますか。設定している場合は目標値の水準をお答え下さい。（1つのみ選択可）

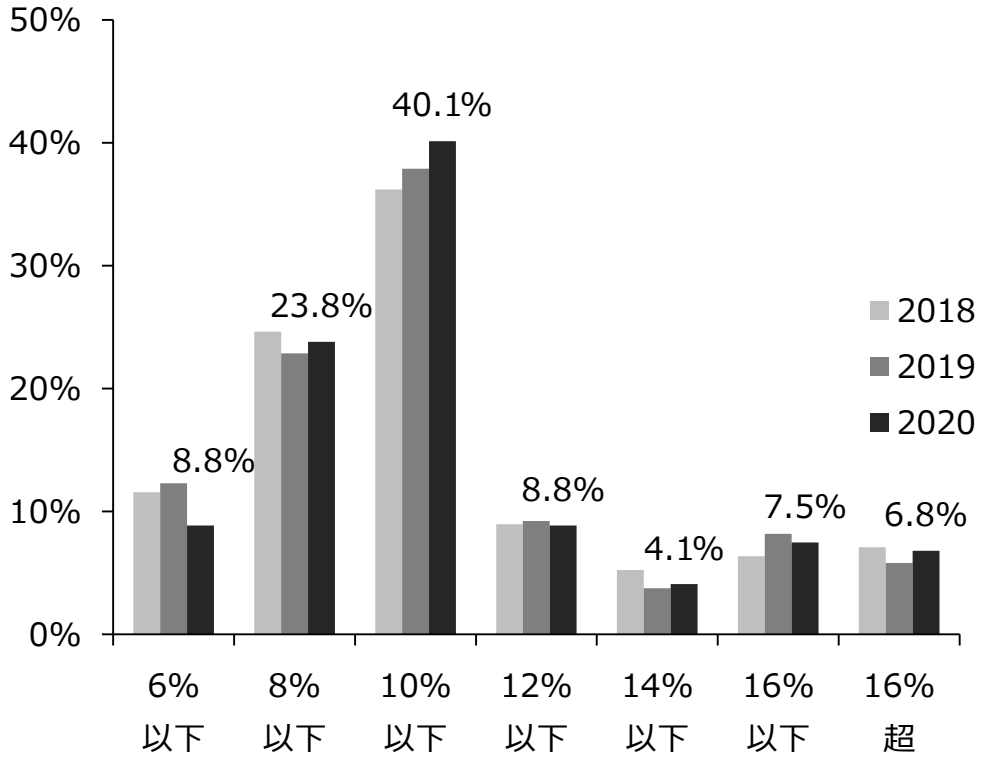
a. 目標値を設定して、公表している
b. 目標値は設定しているが、公表していない⇒②へ
c. 目標値は設定していないが、設定の検討をしている⇒②へ
d. 目標値は設定しておらず、設定の検討もしていない⇒②へ

【目標値の設定・公表状況】



（回答数:2020年度:502,2019年度:529, 2018年度:519）

【目標値の水準】



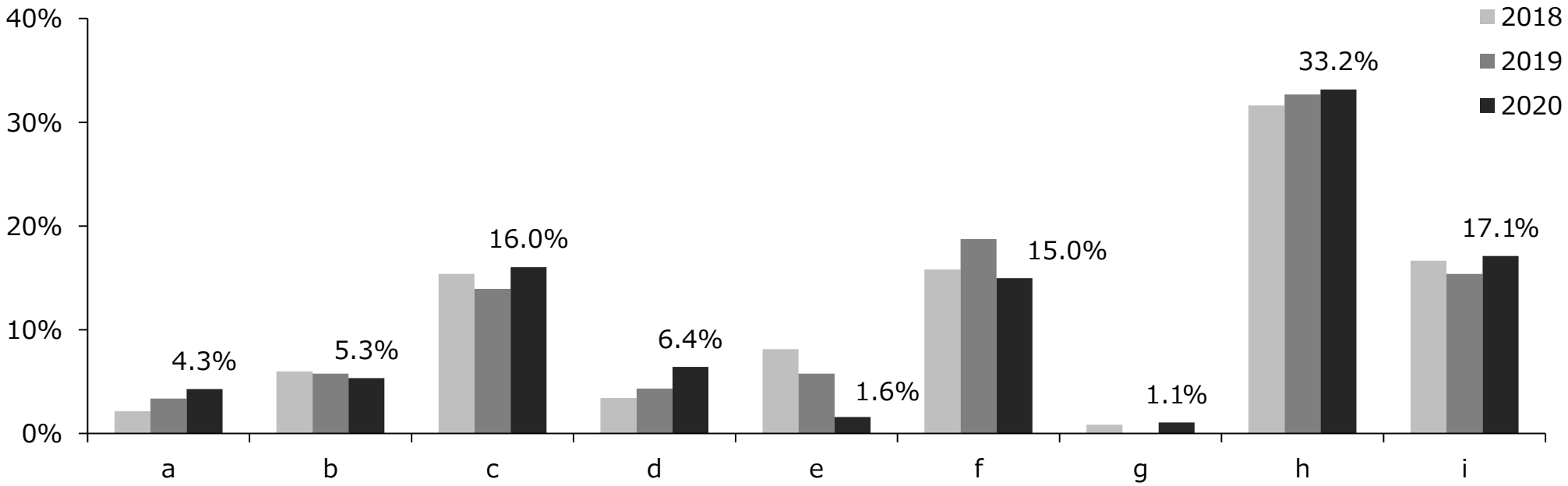
（回答数:2020年度:294,2019年度:293, 2018年度:260）

一般社団法人 生命保険協会

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

（2）②ROEの目標値を公表していない、または設定していない場合は、その理由をお答え下さい。（1つのみ選択可）

a. 重要な指標と考えていない
b. 特別損益の影響で振れ幅が大きい
c. 今後の事業環境の見通しや会社戦略の確度が低い等の理由で設定が困難
d. 現行水準が低く、目標設定意義が薄い
e. 財務体質の改善を優先している
f. 利益の絶対額を重視している
g. 利益よりもキャッシュフローを重視している
h. ROE以外の指標を設定している
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:187,2019年度:208, 2018年度:234）

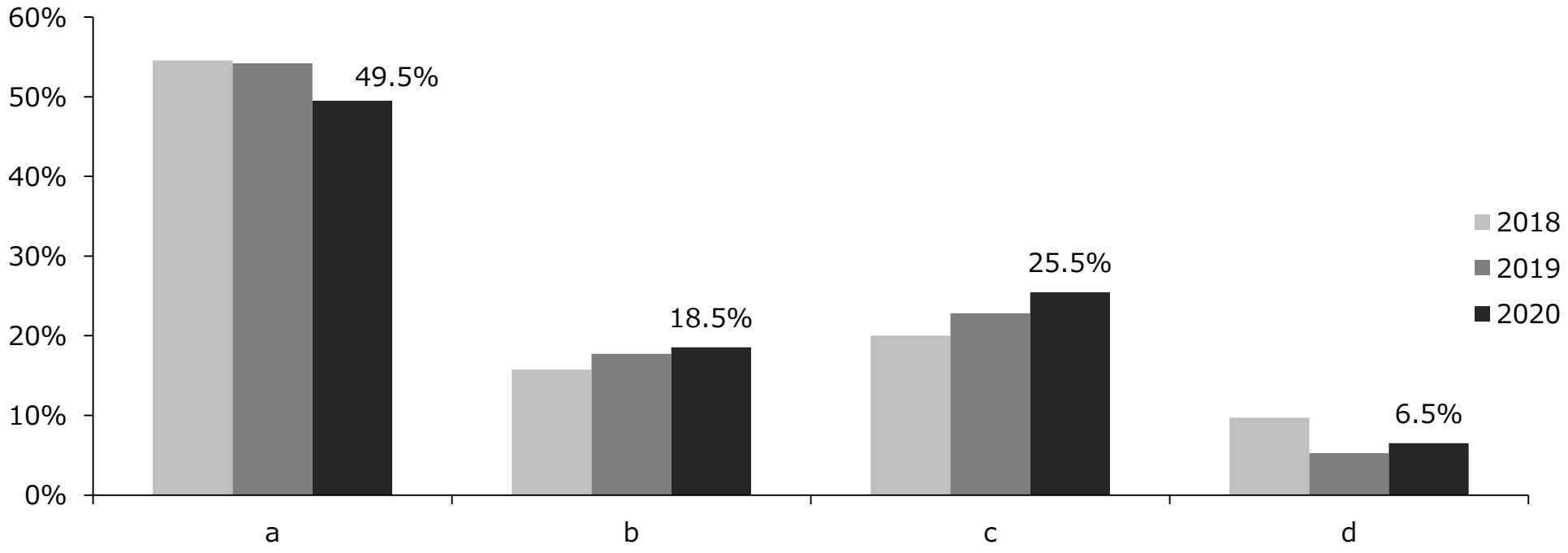
「その他」の回答例：ROAを最重要指標としている

一般社団法人 生命保険協会

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

（3）貴社のROE水準は、資本コスト（株主の要求収益率）を上回っていると思われますか。
（1つのみ選択可）

a. 上回っている⇒（4）へ
b. 同程度⇒（4）へ
c. 下回っている⇒（4）へ
d. 資本コストを把握していない⇒（5）へ



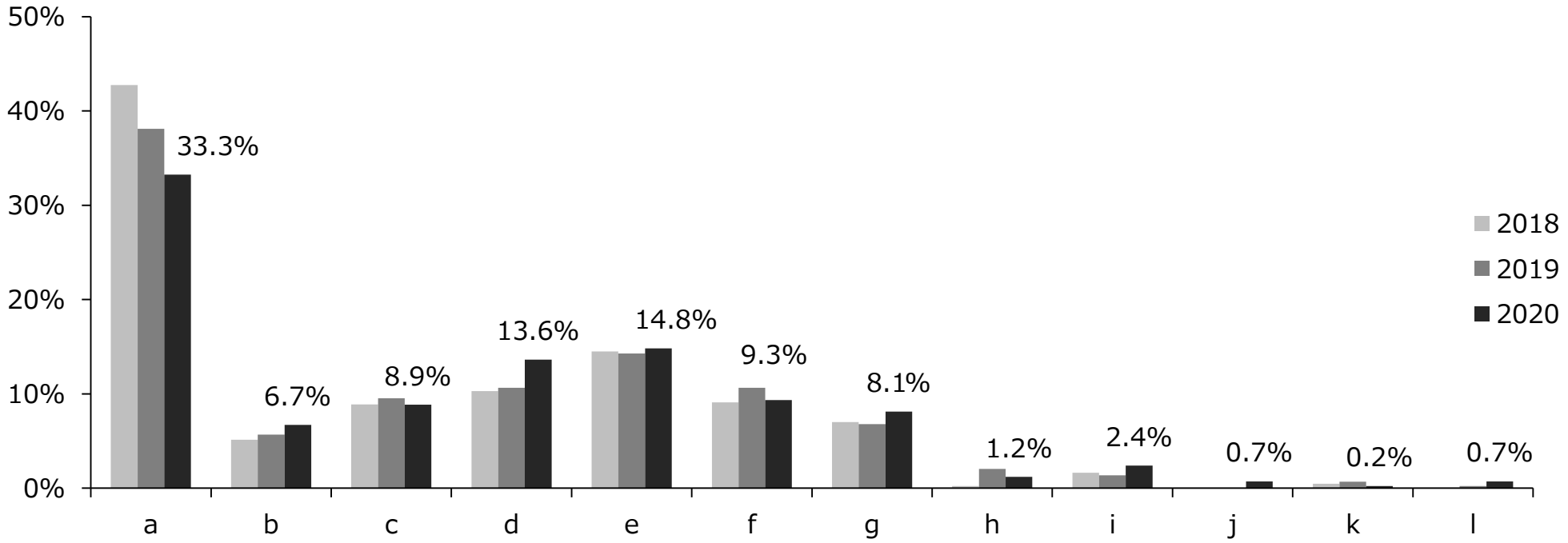
（回答数:2020年度:491,2019年度:513, 2018年度:515）

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（4）（3）でa･b･cを選択された企業にお伺いします。詳細な資本コスト（株主の要求収益率）の数値を算出していますか。算出している場合は、その結果は何%でしょうか。（1つのみ選択可）

a. 詳細数値までは算出していない
b. 4%未満
c. 4%台
d. 5%台
e. 6%台
f. 7%台
g. 8%台
h. 9%台
i. 10%台
j. 11%台
k. 12%台
l. 13%以上



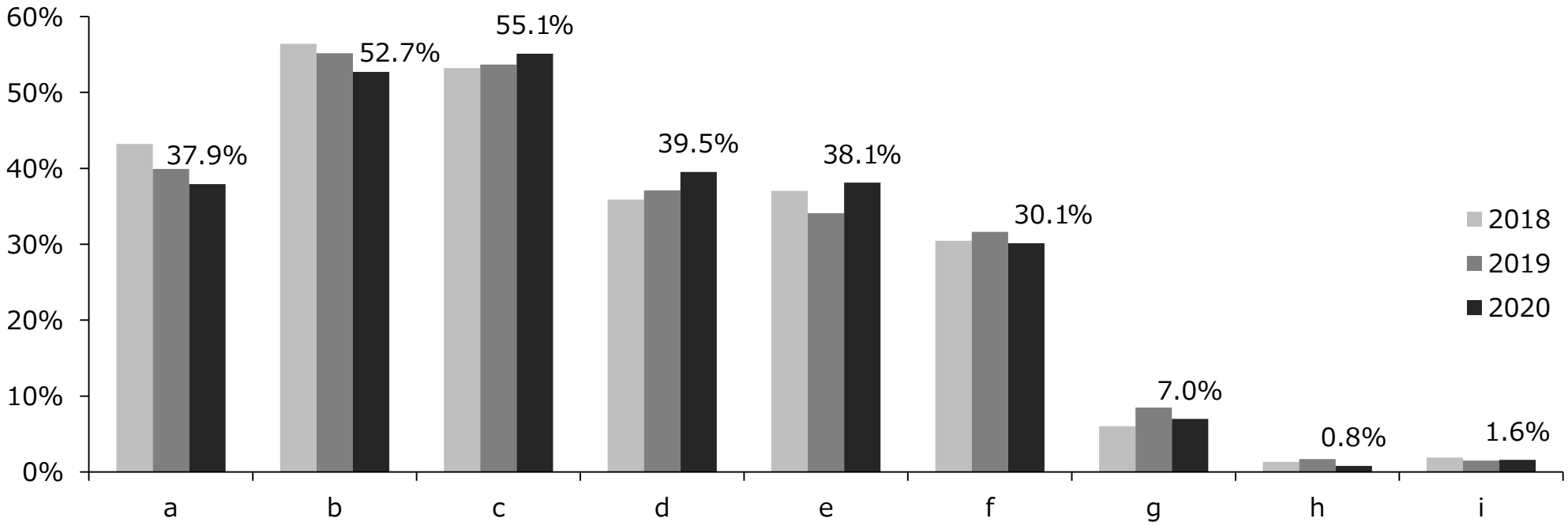
（回答数:2020年度:418,2019年度:441,2018年度:428）

一般社団法人 生命保険協会

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

（5）資本効率向上に向けて重点的に実施している取り組みについてお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 事業規模・シェアの拡大
b. 製品・サービス競争力強化
c. コスト削減の推進
d. 採算を重視した投資
e. 事業の選択と集中（経営ビジョンに則した事業ポートフォリオの見直し・組換え）
f. 収益・効率性指標を管理指標として展開（全社レベルでの浸透）
g. 借入や株主還元を通じたレバレッジの拡大
h. 特段なし
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:501,2019年度:531,2018年度:532）

「その他」の回答例：政策保有株の売却

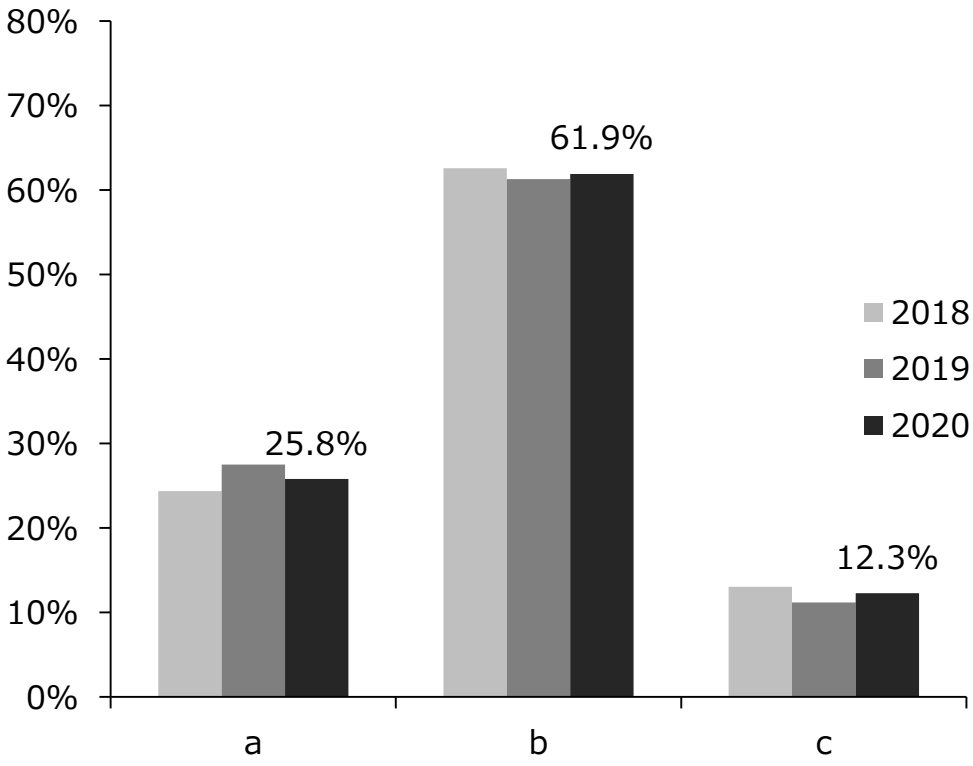
一般社団法人 生命保険協会

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

（1）現在の貴社の①自己資本、②手元資金の水準について、どのような認識をお持ちですか。
（1つのみ選択可）

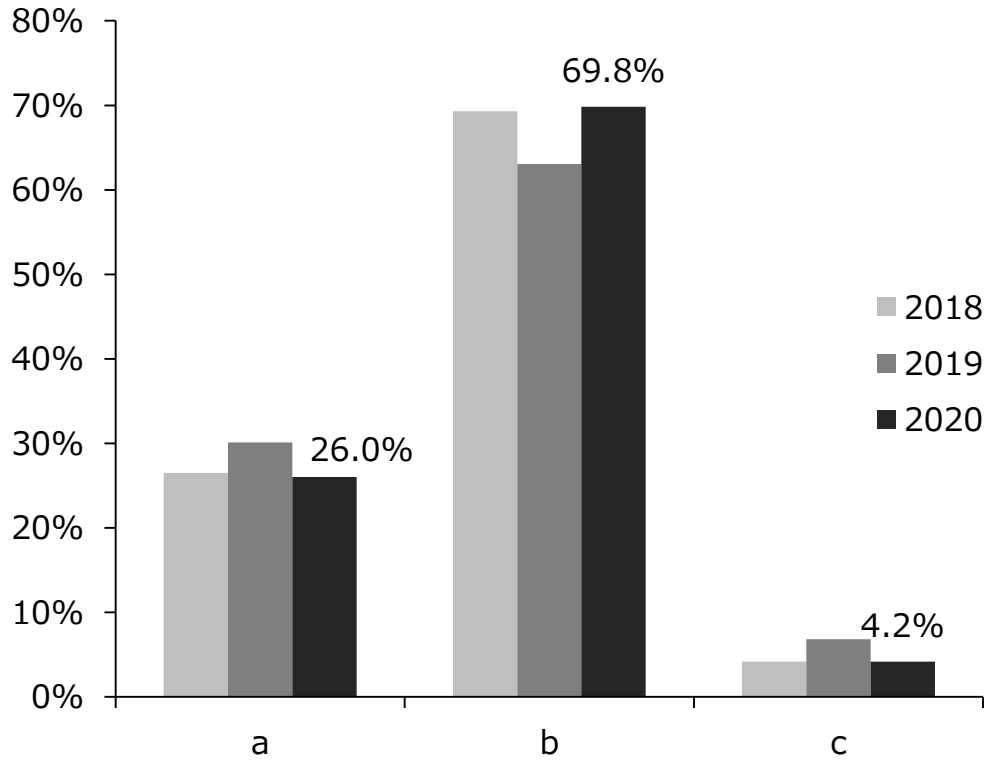
a. 余裕のある水準と考えている
b. 適正と考えている
c. 不足している

【自己資本】



（回答数:2020年度:504,2019年度:527,2018年度:529）

【手元資金】



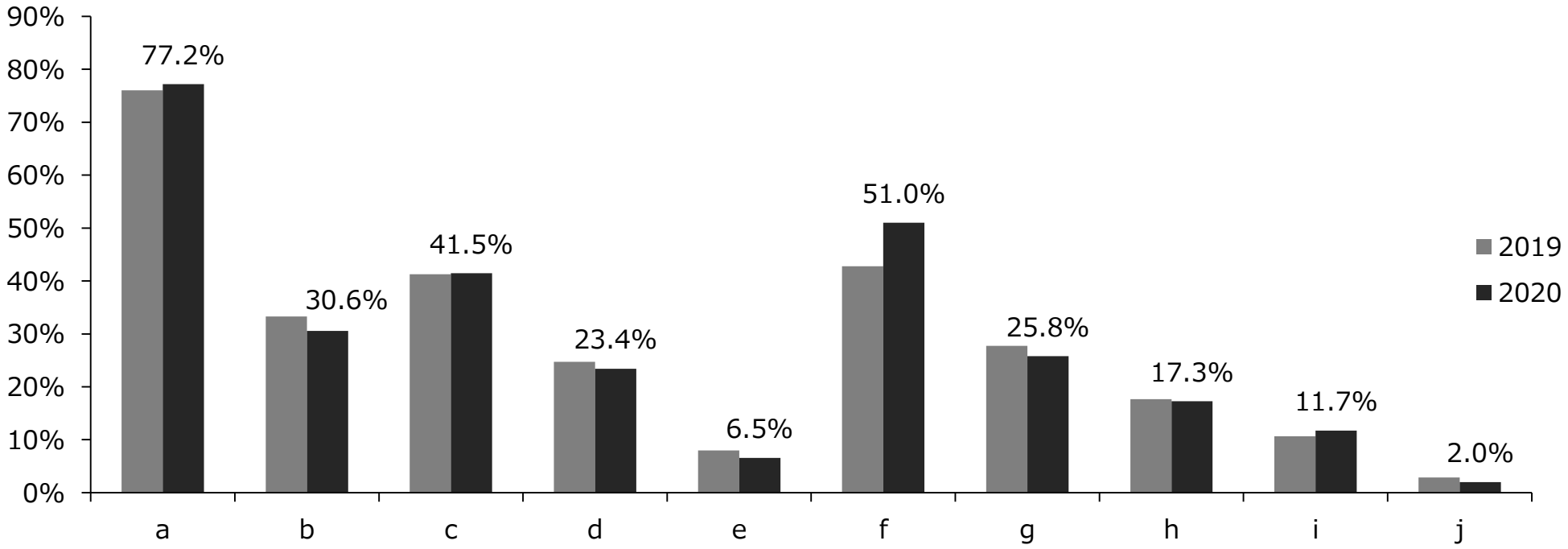
（回答数:2020年度:504,2019年度:528,2018年度:528）

一般社団法人 生命保険協会

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

（2）投資を実行する際に重視している項目をお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 経営戦略との整合性
b. シナジー効果
c. 製品・サービスの競争力強化
d. 事業規模・シェア拡大
e. コスト削減につながるか
f. 投資の採算性
g. 将来の市場見通し
h. 投資リスク
i. 財務への影響
j. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:504,2019年度:526）

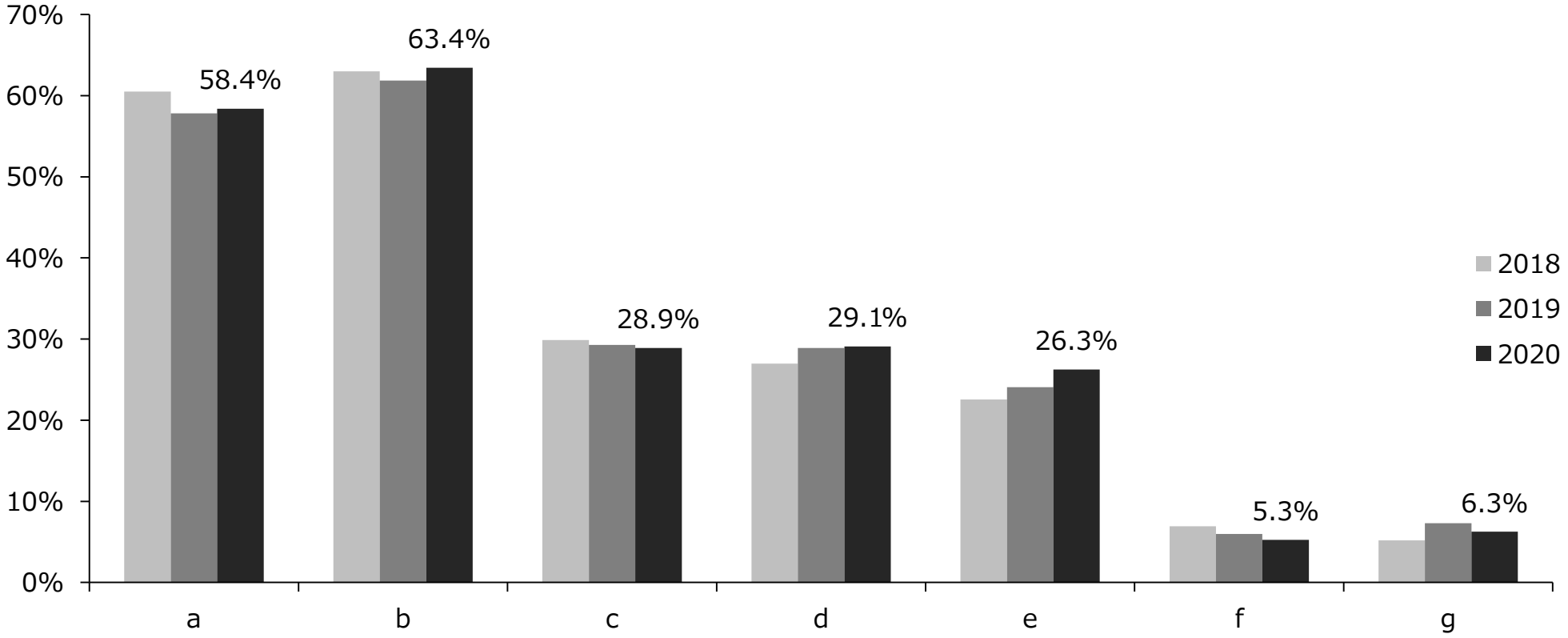
「その他」の回答例：グループの事業運営を円滑にする事業、地域経済振興と地域社会の持続的な成長に役立つ事業

一般社団法人 生命保険協会

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

（3）投資の意思決定の判断基準として重視されている指標をお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 売上・利益の増加額
b. 事業投資資金の回収期間
c. 投下資本利益率（ROIC）
d. 内部収益率（IRR）
e. 正味現在価値（NPV）
f. 判断基準は特に設定していない
g. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:495,2019年度:519,2018年度:519）

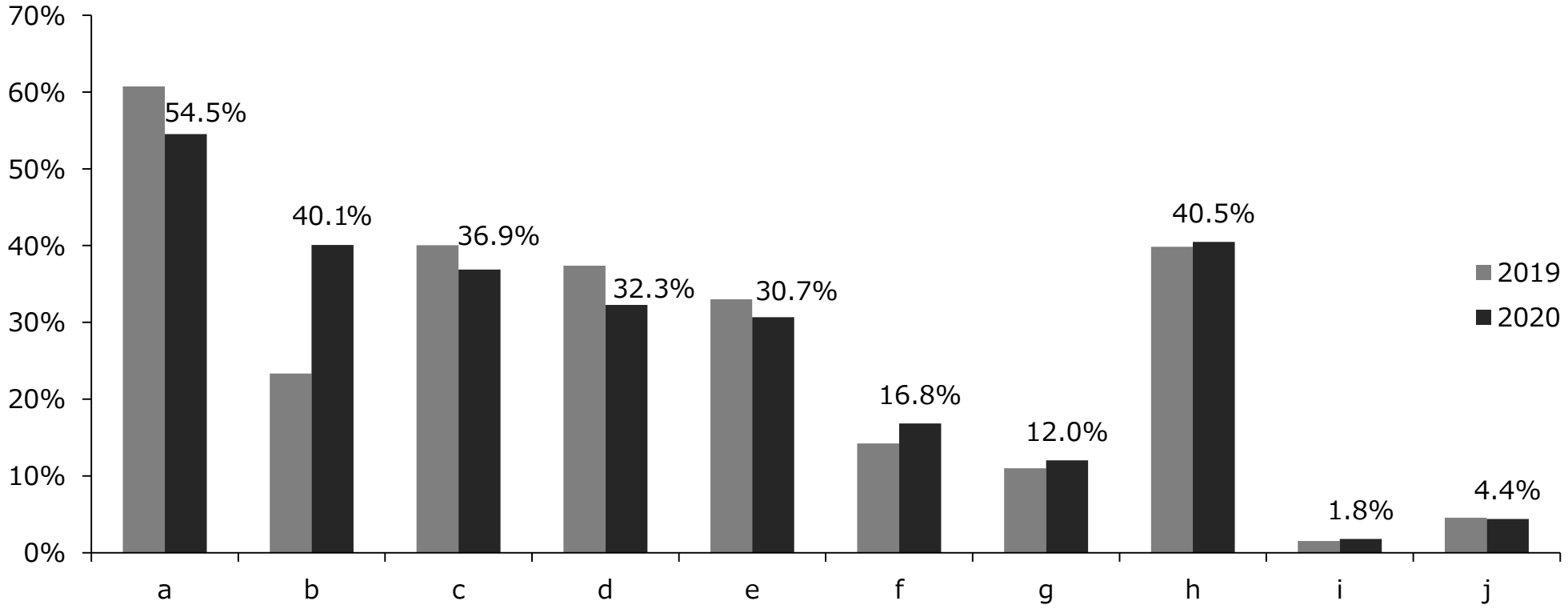
「その他」の回答例：シナジー効果、EV/EBITDA倍率

一般社団法人 生命保険協会

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

（4）自社の中長期的な投資・財務戦略において、重視しているものをお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 設備投資
b. IT投資（デジタル化）（※）
c. 研究開発投資
d. 人材投資
e. M&A
f. 資本構成の最適化
g. 有利子負債の返済
h. 株主還元
i. 特に決まっていない
j. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:499,2019年度:527）

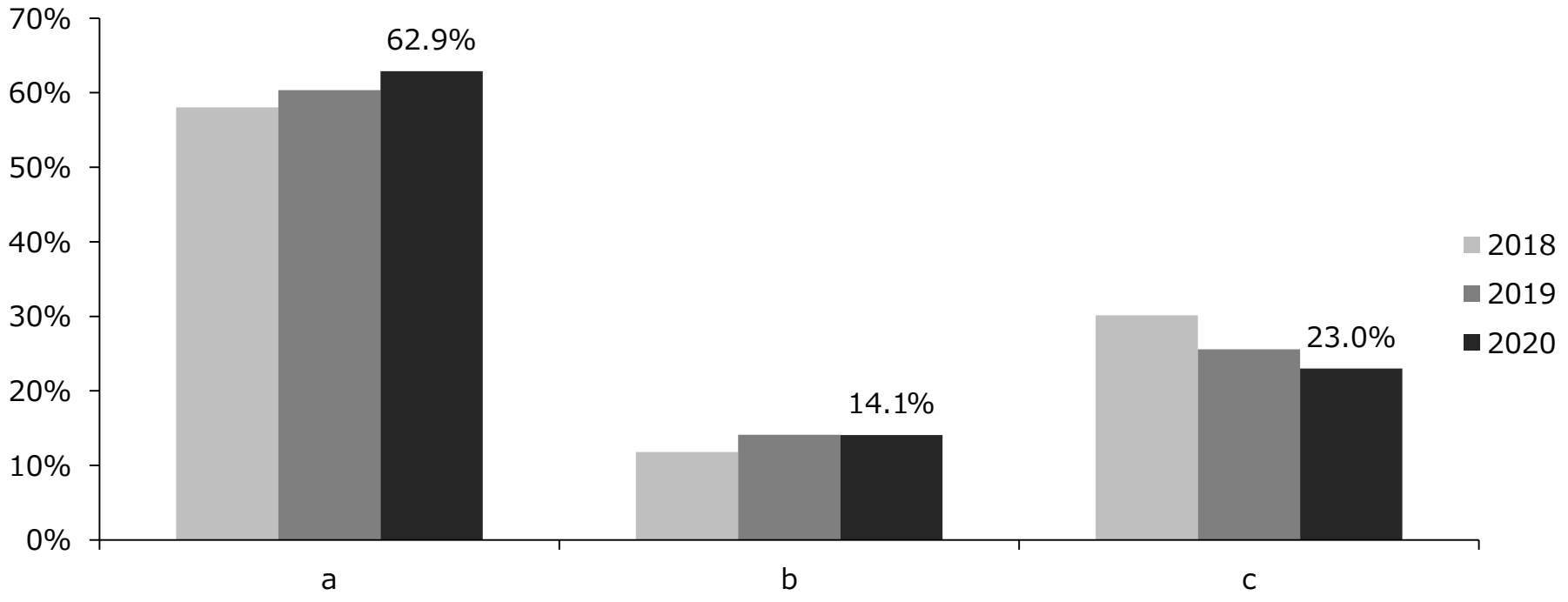
「その他」の回答例：新規事業投資、財務健全性
(※)「IT投資」(2019年度)から変更

一般社団法人 生命保険協会

Q4. 株主還元についてお伺いします。

（1）株主還元に関して、配当性向、株主資本配当率（DOE）、総還元性向等の目標値を設定・公表していますか。（1つのみ選択可）

a. 目標値を設定して、公表している
b. 目標値は設定しているが、公表していない
c. 目標値を設定していない



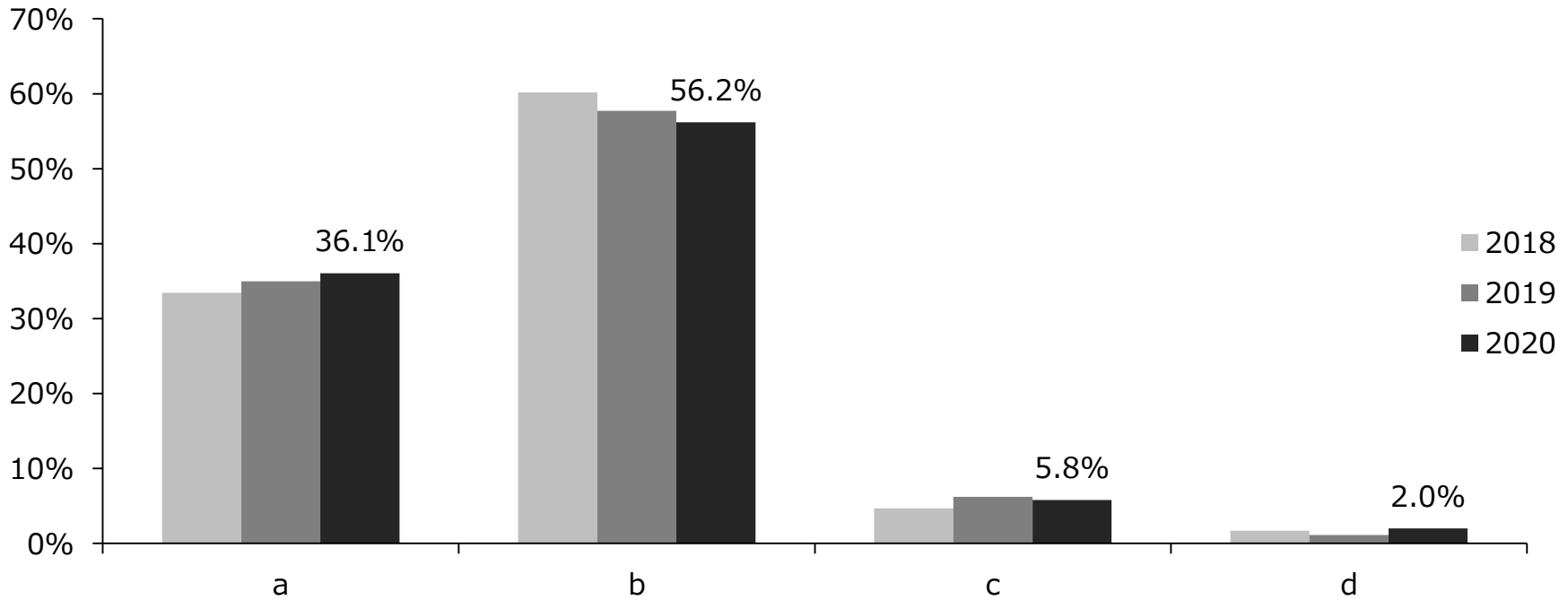
（回答数:2020年度:504,2019年度:532,2018年度:534）

一般社団法人 生命保険協会

Q4. 株主還元についてお伺いします。

（2）株主還元・配当政策に関して、資本効率や内部留保・投資の必要性の観点から投資家に対して説明を行っていますか。（1つのみ選択可）

a. 十分行っている
b. 一定程度行っている
c. あまり行っていない
d. ほとんど行っていない



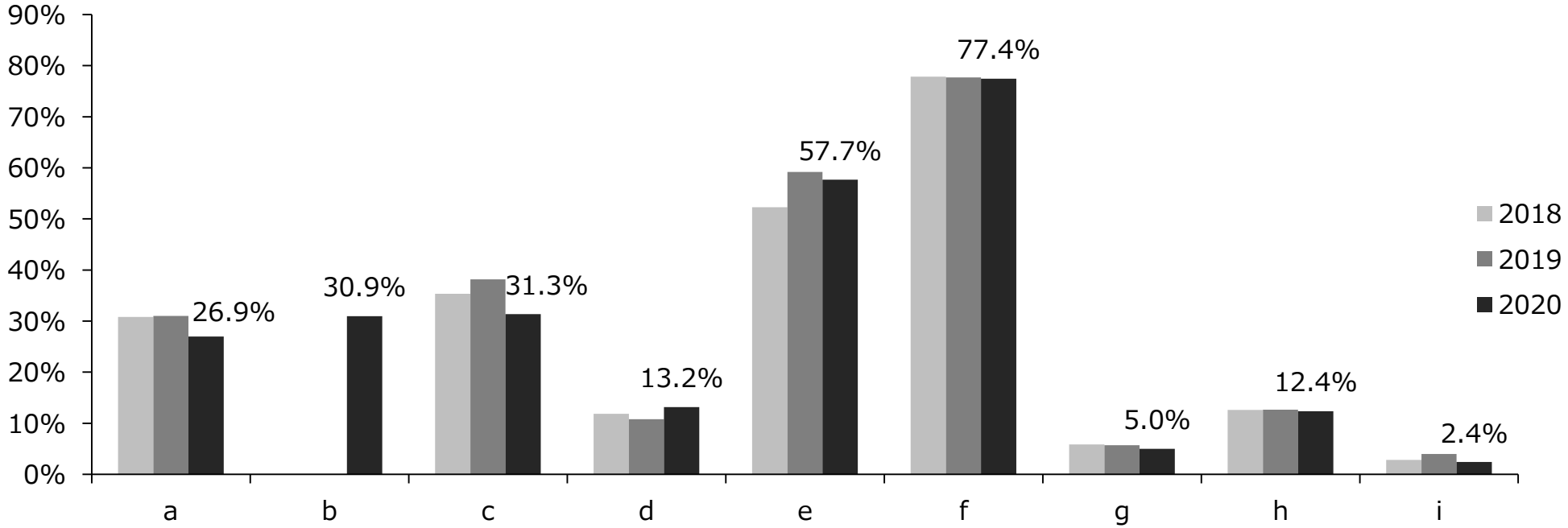
（回答数:2020年度:502,2019年度:532,2018年度:535）

一般社団法人 生命保険協会

Q4. 株主還元についてお伺いします。

（3）株主還元・配当政策についてどのような観点から投資家に対して説明しているかお答え下さい。（複数選択可）

a. 投資機会の有無
b. 財務健全性・信用力の水準(※)
c. 事業の成長ステージ
d. 資本構成
e. 総還元性向・配当性向の水準
f. 株主還元・配当の安定性
g. 株価推移
h. ROEの水準
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:501,2019年度:529,2018年度:532）

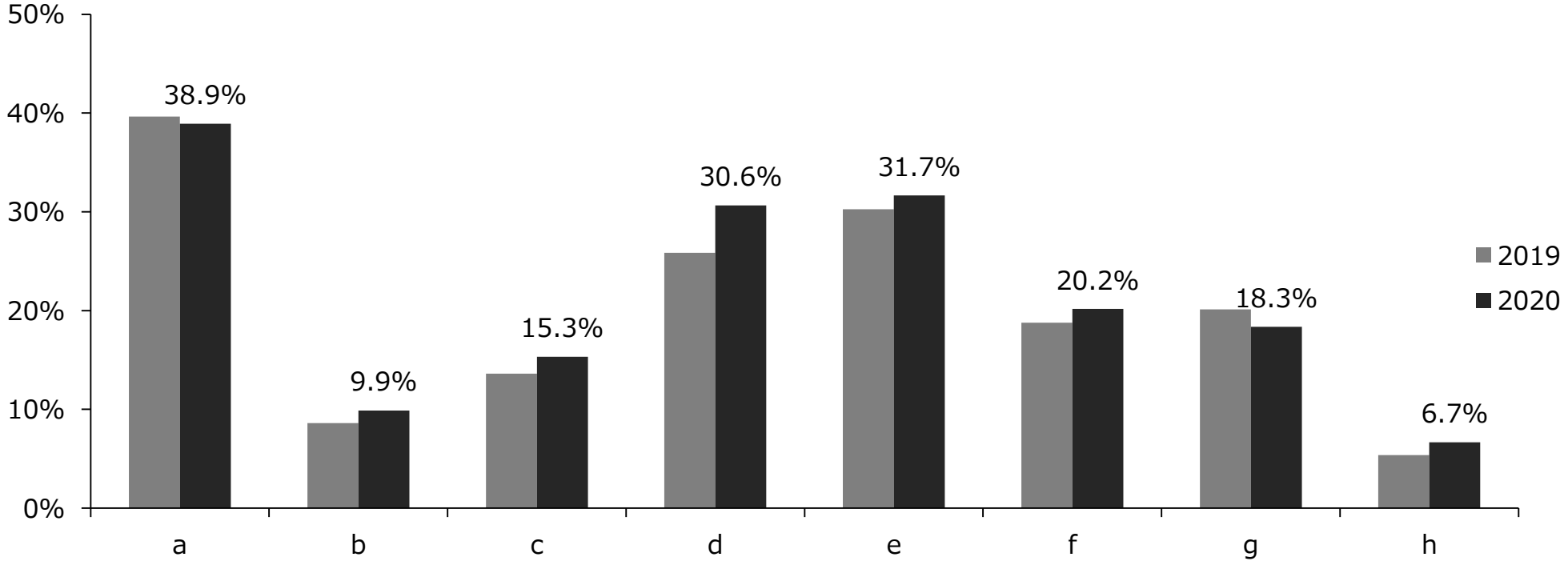
「その他」の回答例：成長投資、資本充実、株主還元のバランス、DOE
(※)2020年度より追加

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（1）投資家との対話に際し、自社の体制や取り組みにおいて感じている課題についてお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 対話に割けるリソース・人材が不足
b. 経営トップが対話に関与できていない
c. 対話内容の経営層での共有化が不足
d. 対話の材料となる情報開示が不足
e. 対話担当者のスキル・知識の向上
f. 投資家の対話や議決権方針への理解度向上
g. 特段なし
h. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:496,2019年度:522）

「その他」の回答例：非財務情報等の開示範囲拡充により対応負荷が増加

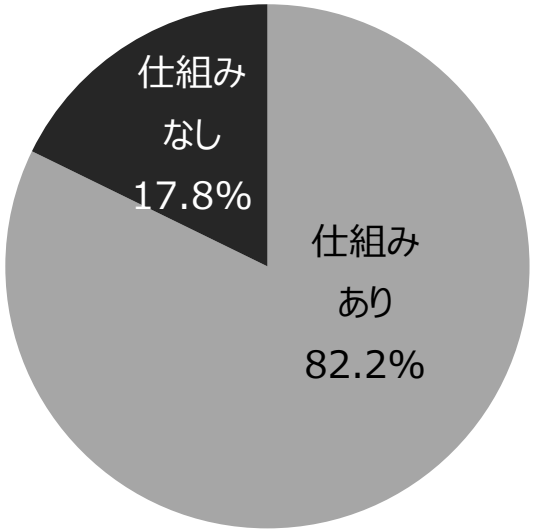
一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（2）①対話内容を経営層で共有化する仕組みがありますか。（1つのみ選択可）

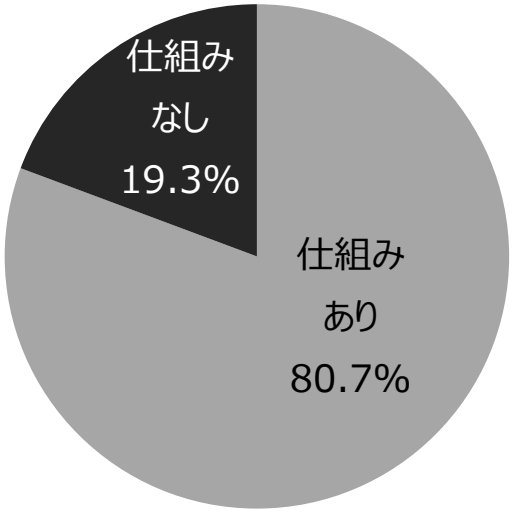
a.　対話内容を経営層で共有化する仕組みがある⇒②へ
b.　対話内容を経営層で共有化する仕組みはない⇒（3）へ

2020年度



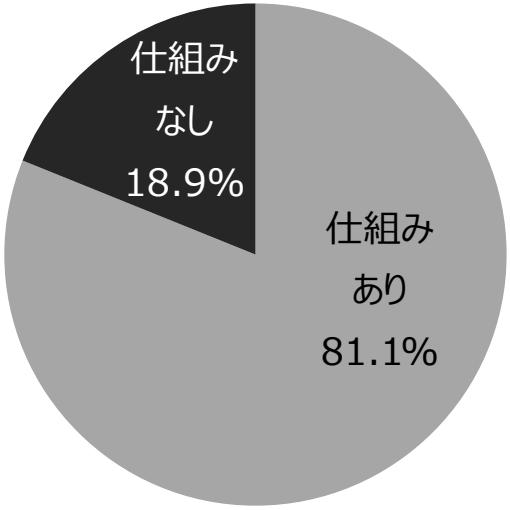
（回答数:2020年度:501）

2019年度



（回答数:2019年度:523）

2018年度



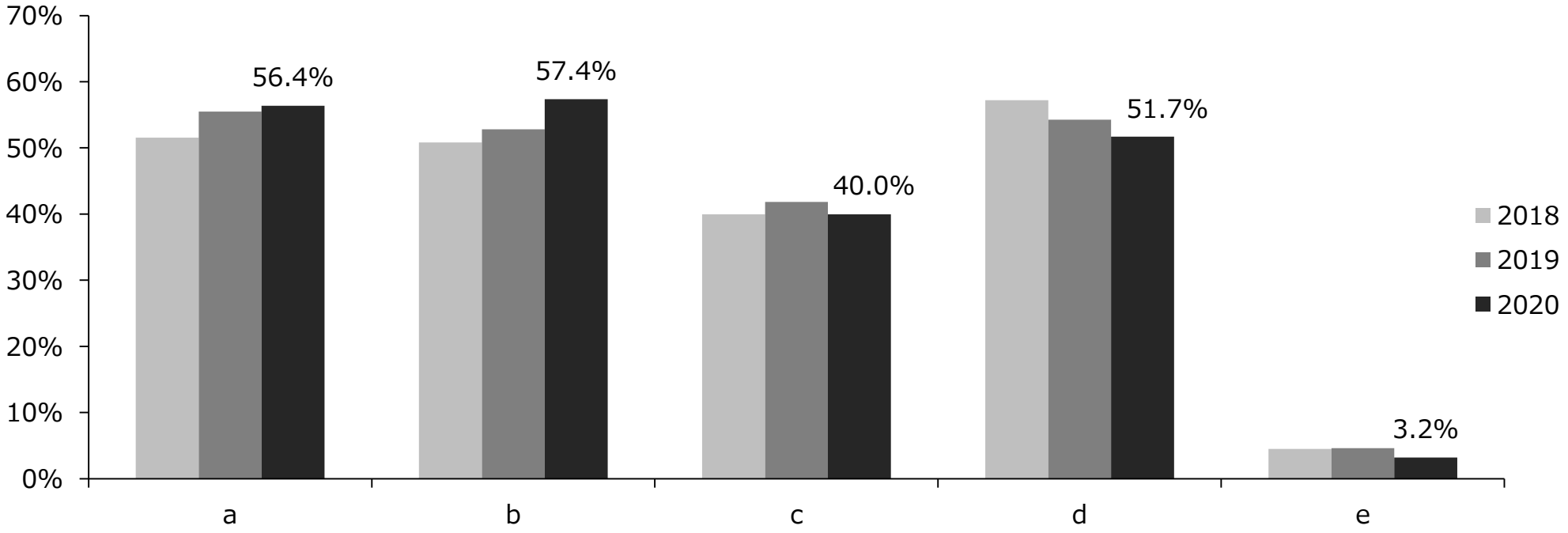
（回答数:2018年度:524）

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（2）②対話内容を共有化する仕組みがある場合は、どのような体制を整備しているかお答え下さい。（複数選択可）

a. 定期的に経営陣が投資家と対話を行い、経営陣内で共有化している
b. 取締役会や経営会議でIR担当者が報告する機会を設けている
c. 経営トップに直接定期的に報告する機会を設けている
d. レポート形式にして定期的に経営陣へ送付している
e. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:408,2019年度:411,2018年度:423）

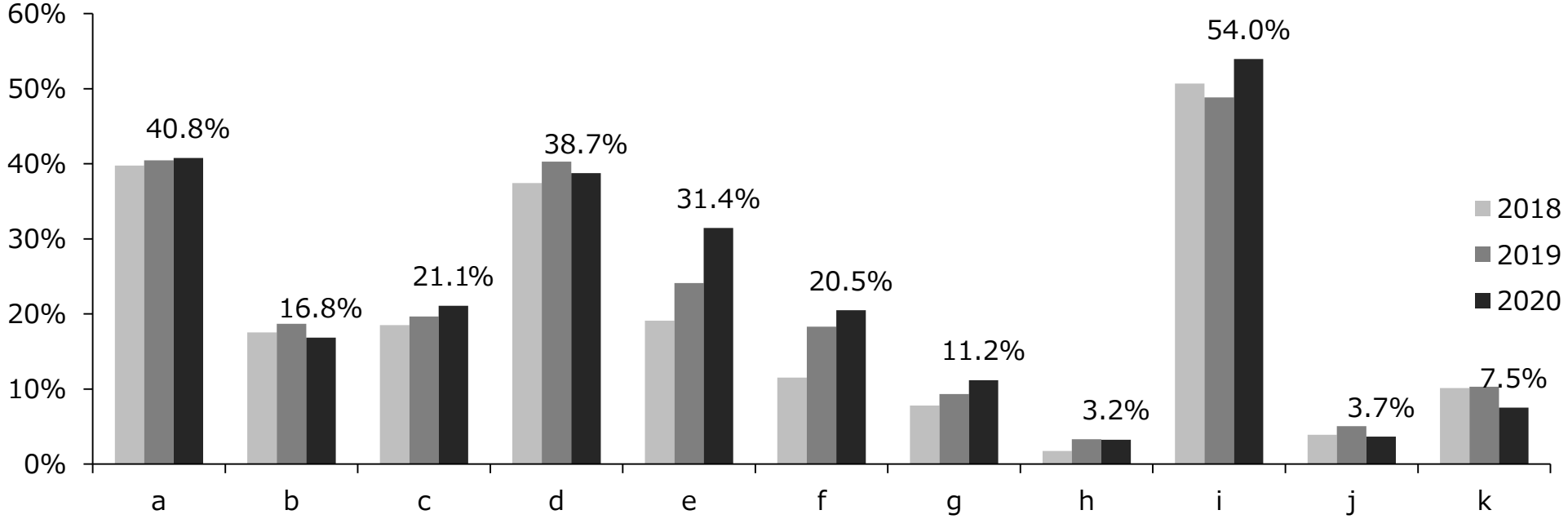
「その他」の回答例：IR担当者が取締役に対して必要な情報をフィードバックする、個別対話の内容を社内データベースで共有している

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（3）機関投資家との対話内容を踏まえ、何らかのアクションを取った論点、もしくは自社の改善策等の参考にした論点をお答え下さい。（複数選択可）

a. 経営戦略・事業戦略
b. 収益性
c. 財務戦略
d. 株主還元
e. E（環境）・S（社会）関係
f. 社外取締役関係（社外取締役の人数、社外役員の独立性／出席率 等）
g. 買収防衛策
h. 不祥事等の対応
i. 情報開示
j. その他（具体的には　　）
k. アクションを起こしていない



（回答数:2020年度:493,2019年度:514,2018年度:513）

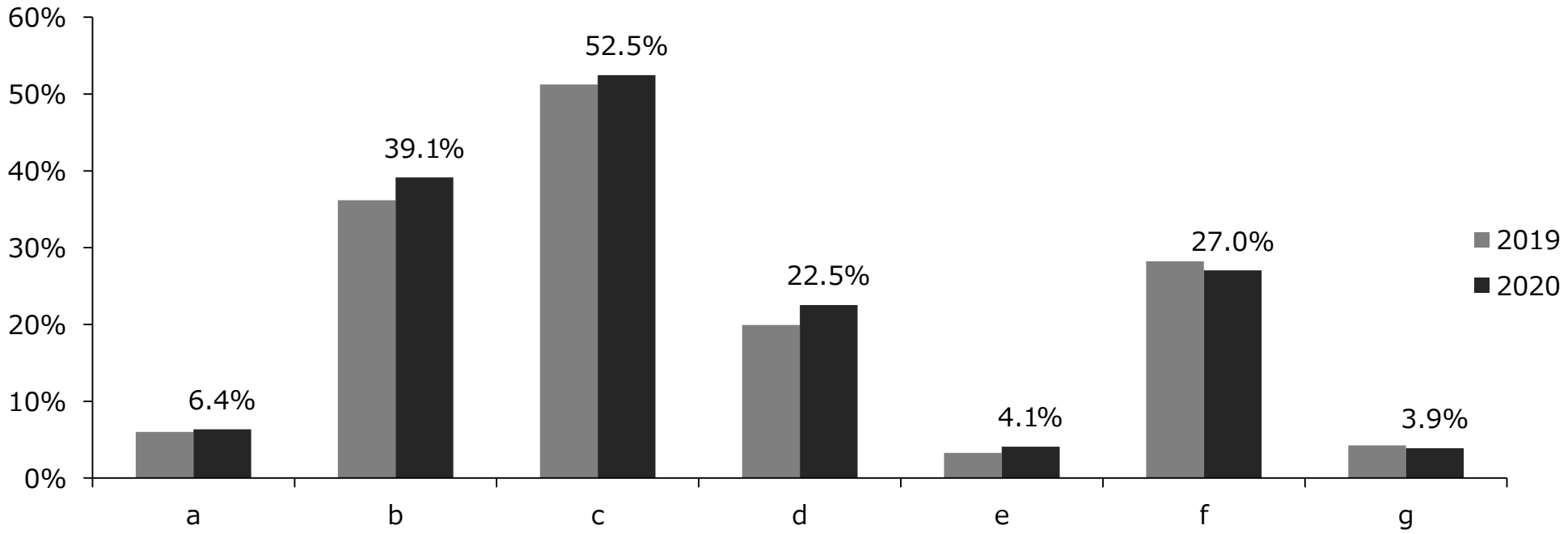
「その他」の回答例：報酬制度、政策投資株縮減、統合報告書の整備

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（4）対話において投資家に対して感じる課題についてお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 対話関係のリソースや人材が不足
b. 企業に対する分析や理解が浅い（対話内容が形式的）
c. 短期的な視点・テーマのみに基づく対話の実施
d. 対話目的等の説明が不足（保有方針、議決権行使方針、対話の位置づけ、対話後のプロセス等）
e. 対話担当者の対話スキルが不足
f. 特段なし
g. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:488,2019年度:517）

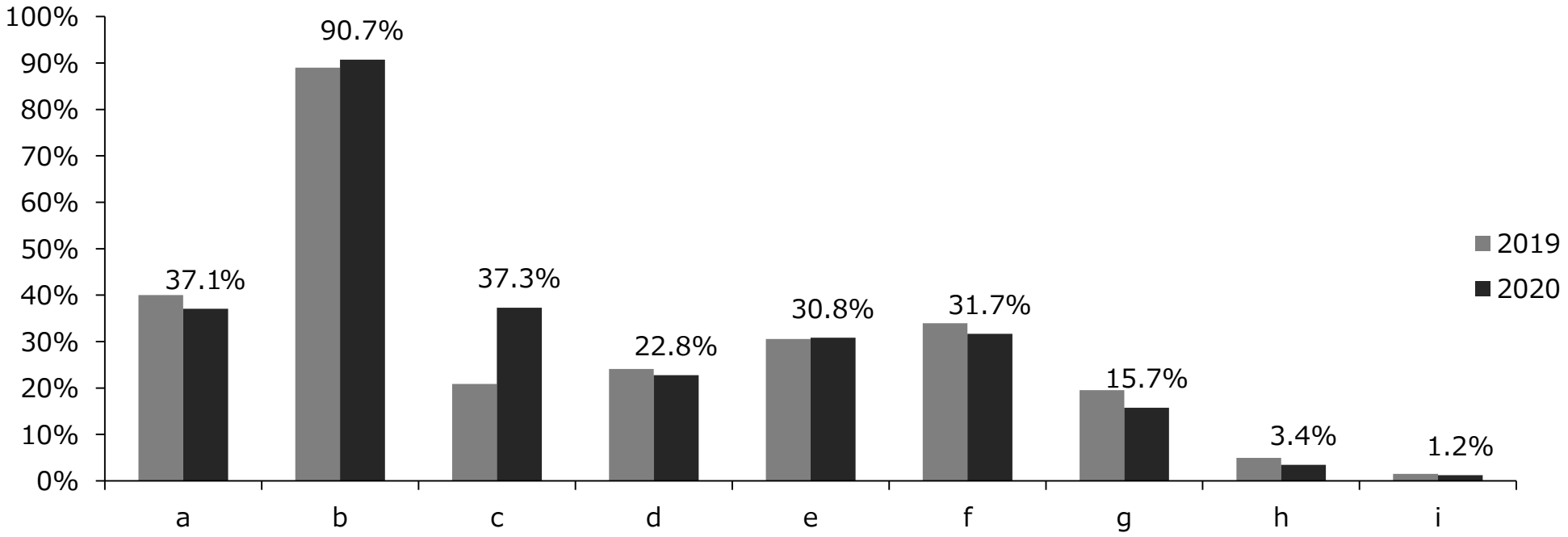
「その他」の回答例：他のステークホルダーを軽視した提案、情報開示の優先順位、実際の投資に結びついているか分かりにくい

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（5）投資家との深度ある「建設的な対話」を行うため、重要だと考えるテーマをお答え下さい。
（3つまで選択可）

a. 経営理念・ビジョン
b. 経営戦略・ビジネスモデル
c. サステナビリティ（環境・社会課題への取り組み）（※）
d. コーポレート・ガバナンス
e. 企業業績
f. 財務戦略（資本コスト含む）
g. 株主還元
h. 株主総会議案・議決権行使関係
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:496,2019年度:527）

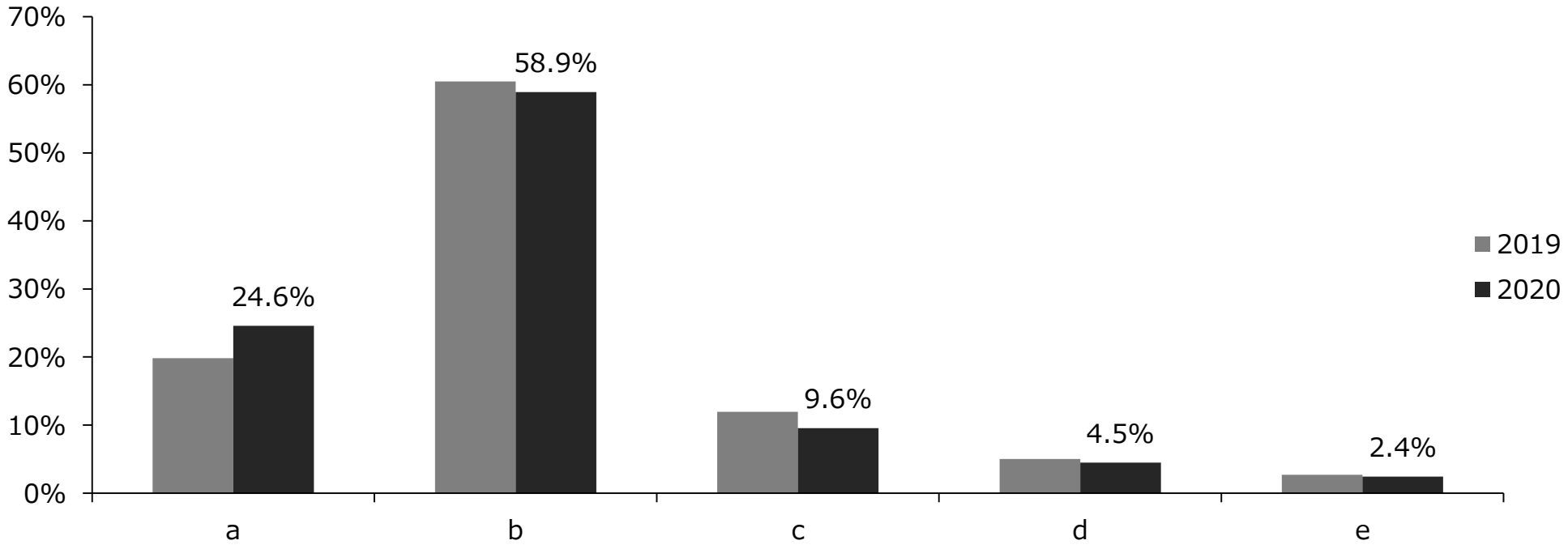
「その他」の回答例：持続的成長に繋がる論点、IR戦略
(※)「環境・社会課題への取り組み」(2019年度)から変更

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（6）①対話において、「投資家と企業の対話ガイドライン」を活用していますか。（1つのみ選択可）

a. 活用している
b. 現在は十分に活用できていないが、今後活用していきたい
c. 活用しておらず、今後も活用予定はない
d. 存在を知らなかった
e. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:492,2019年度:519）

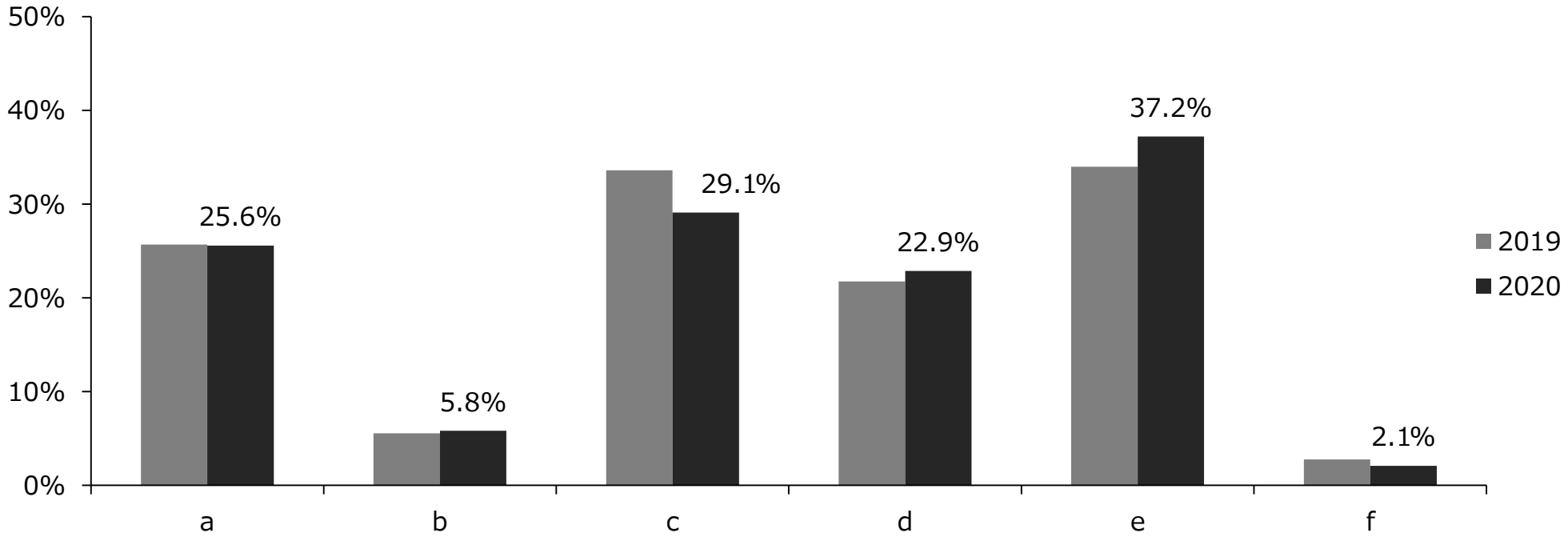
「その他」の回答例：参考程度に活用している、活用していないが基本的にコーポレートガバナンス・コードに沿って対話を実施

一般社団法人 生命保険協会

Q5. 投資家との対話についてお伺いします。

（6）②対話ガイドラインを活用する場合の課題についてお答えください。（複数選択可）

a. 自社の理解が不足している
b. 対話相手の理解が不足している
c. 対話方針・プロセスに取り込めていない
d. 具体的な対話イメージがわきづらい
e. 特段なし
f. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:481,2019年度:506）

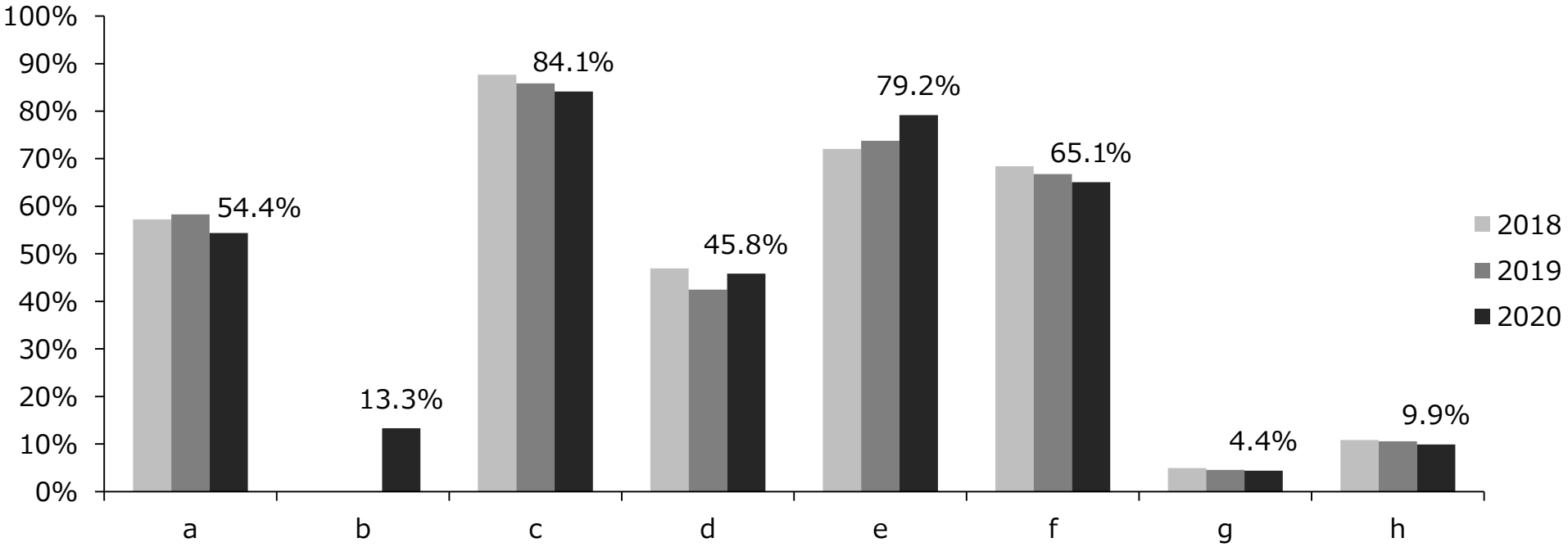
「その他」の回答例：長期的な企業価値の向上をガイドラインは目指す一方で、短期的な業績に関する対話が依然として多い

一般社団法人 生命保険協会

Q6. 株主総会についてお伺いします。

（1）株主の議決権行使を充実させるために、どのようなことに取り組んでいますか（今後の予定も含む）。（複数選択可）

a. 集中日を回避した株主総会の開催
b. ハイブリッド型バーチャル株主総会の開催(※)
c. 招集通知の早期発送（早期開示）
d. 議案の説明充実
e. インターネットによる議決権投票
f. 議決権電子行使プラットフォームへの参加
g. 有価証券報告書の早期開示
h. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:504,2019年度:530,2018年度:526）

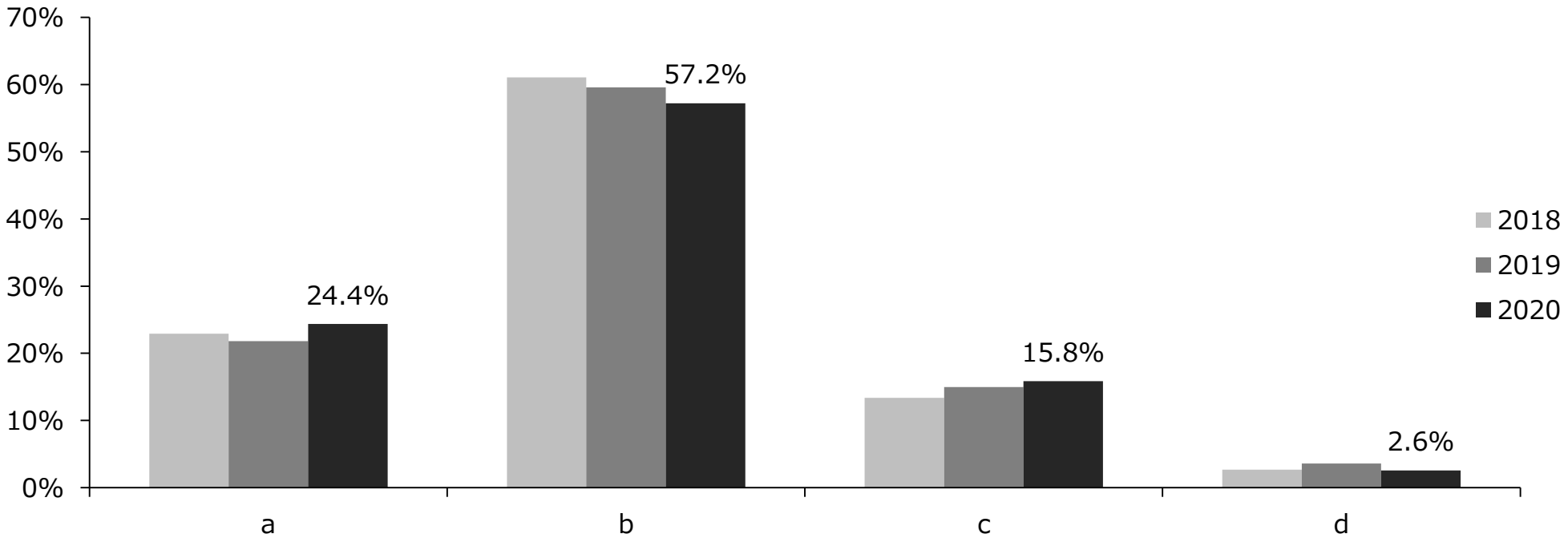
「その他」の回答例：英文招集通知の作成、スマートフォンによる議決権行使・招集通知閲覧
(※)2020年度より追加

一般社団法人 生命保険協会

Q6. 株主総会についてお伺いします。

（2）投資家に対し、①個別議案の説明を十分に行っていますか。（1つのみ選択可）

a. 十分に説明している
b. 一定程度説明している
c. あまり十分とは言えない
d. 説明は不十分



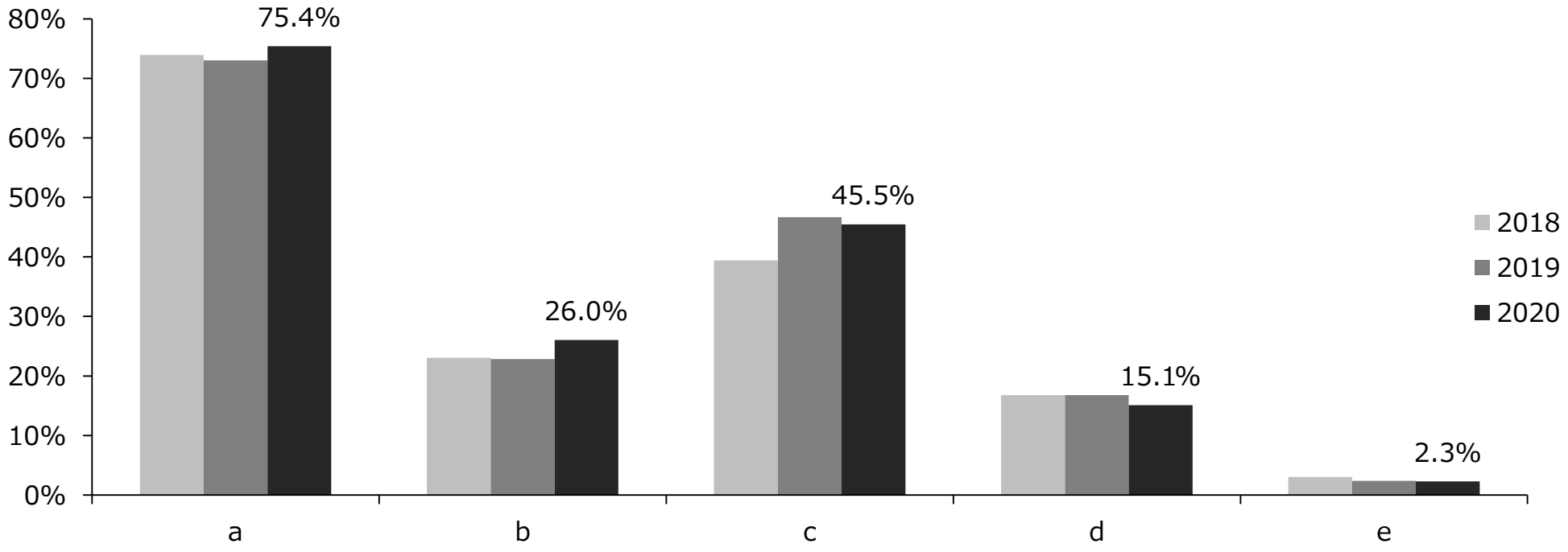
（回答数:2020年度:505,2019年度:527,2018年度:524）

一般社団法人 生命保険協会

Q6. 株主総会についてお伺いします。

（2）投資家に対し、②議案の説明充実に向けて、重点的に取り組まれているものをお答え下さい。（3つまで選択可）

a. 招集通知の議案内容の説明充実
b. 総会前の議案の事前説明の実施・充実
c. 対話を通じた継続的なスタンスの説明
d. ホームページ等を活用した議案の説明
e. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:484,2019年度:512,2018年度:495）

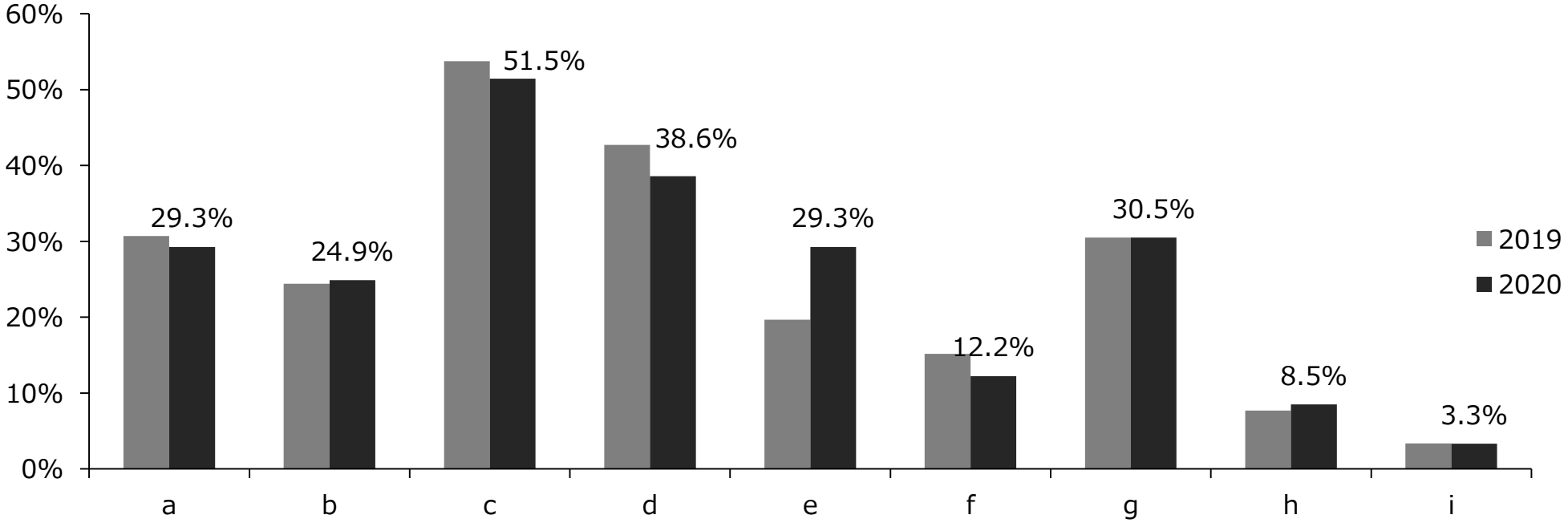
「その他」の回答例：議案賛否の判断材料（事業報告など）の記載充実、Eメールによる議案説明

一般社団法人 生命保険協会

Q6. 株主総会についてお伺いします。

（3）投資家の議決権行使に関して課題と感じており、改善を期待することは何ですか。
（3つまで選択可）

a. 議決権行使基準の開示の充実
b. 議決権行使に関する対話の充実
c. 対話等により個別企業の実態を踏まえた議決権行使の実施
d. 自社への議決権行使賛否理由の説明
e. 議決権行使結果の開示の充実（賛否理由の開示を含む）（※）
f. 議決権行使助言会社の適切な活用
g. 中長期的な視点での議決権行使の実施
h. 対話内容と議決権行使判断の整合
i. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:482,2019年度:508）

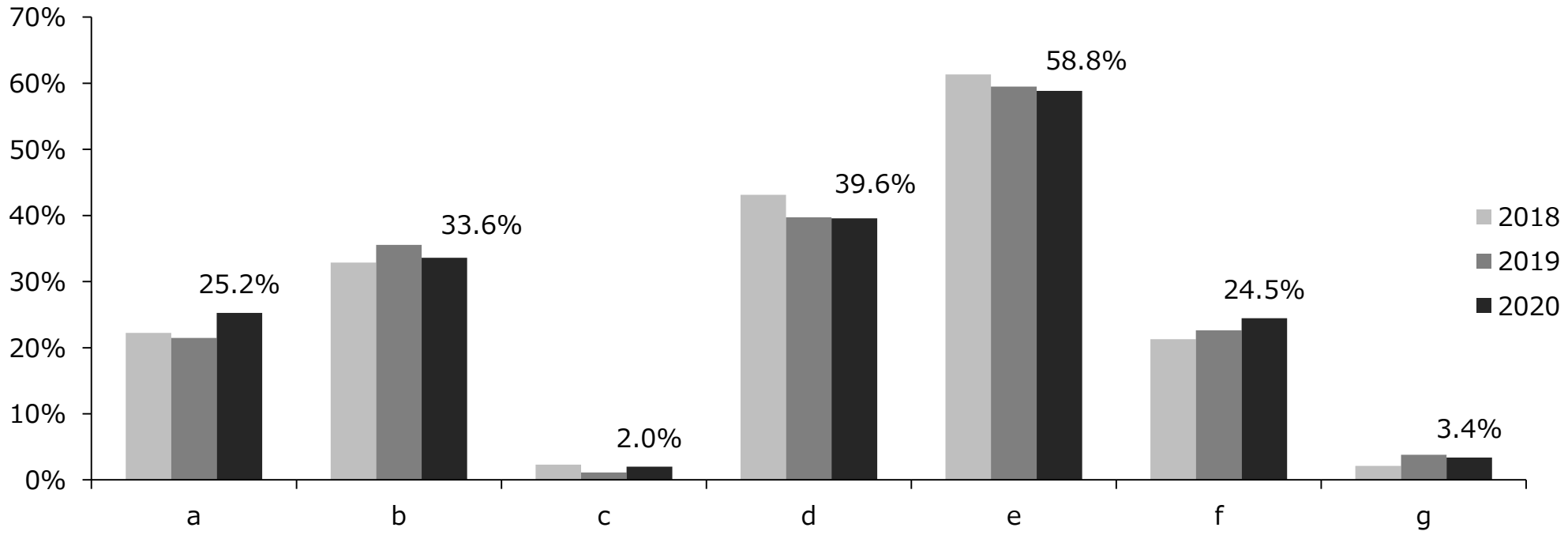
「その他」の回答例：議決権の早期行使、形式的な判断
（※）「議決権行使結果の開示の充実」(2019年度)から変更

一般社団法人 生命保険協会

Q6. 株主総会についてお伺いします。

（4）過年度に反対の多かった議案に対して、どのような取り組みを実施していますか。（複数選択可）

a. 招集通知書への説明充実
b. 投資家との対話
c. 議案の修正・取り下げ
d. 反対株主の分析
e. 反対理由の分析
f. 特段なし
g. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:503,2019年度:526,2018年度:517）

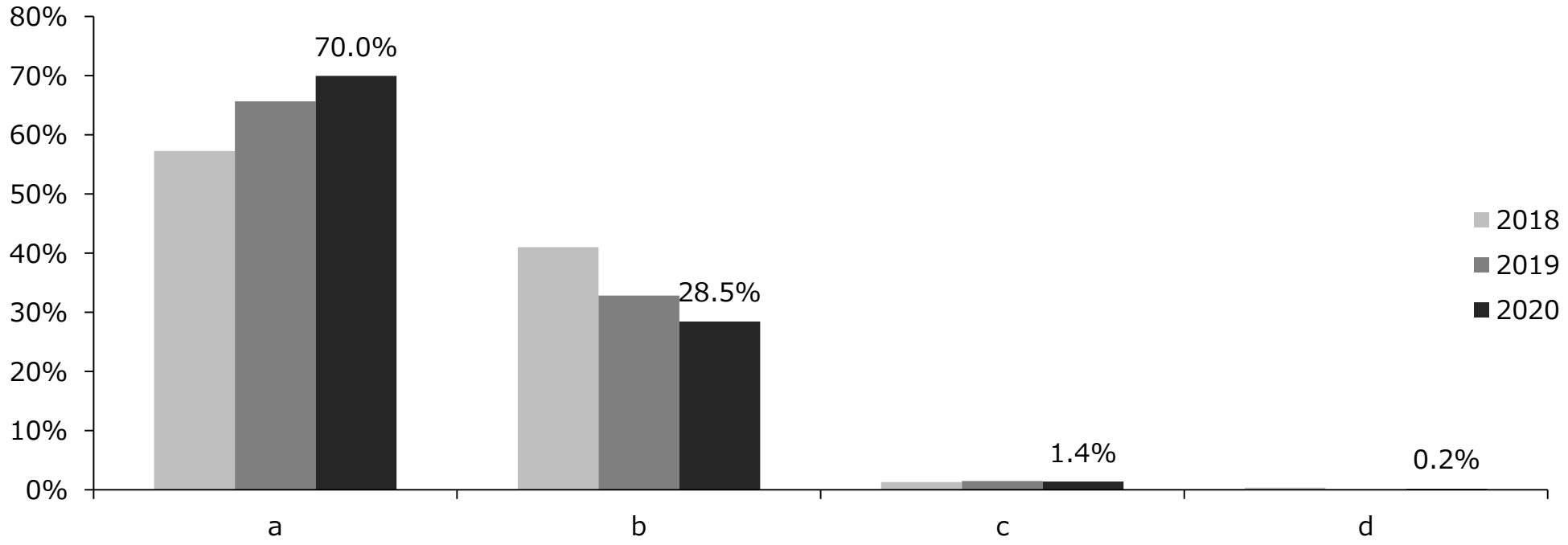
「その他」の回答例：当社ウェブサイト等を活用した当社スタンスの説明、補足説明資料の開示

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（1）経営にとって、ESGへの取り組みがどの程度重要だと考えていますか。（1つのみ選択可）

a. 非常に重要
b. ある程度重要
c. そこまで重要ではない
d. 重要ではない



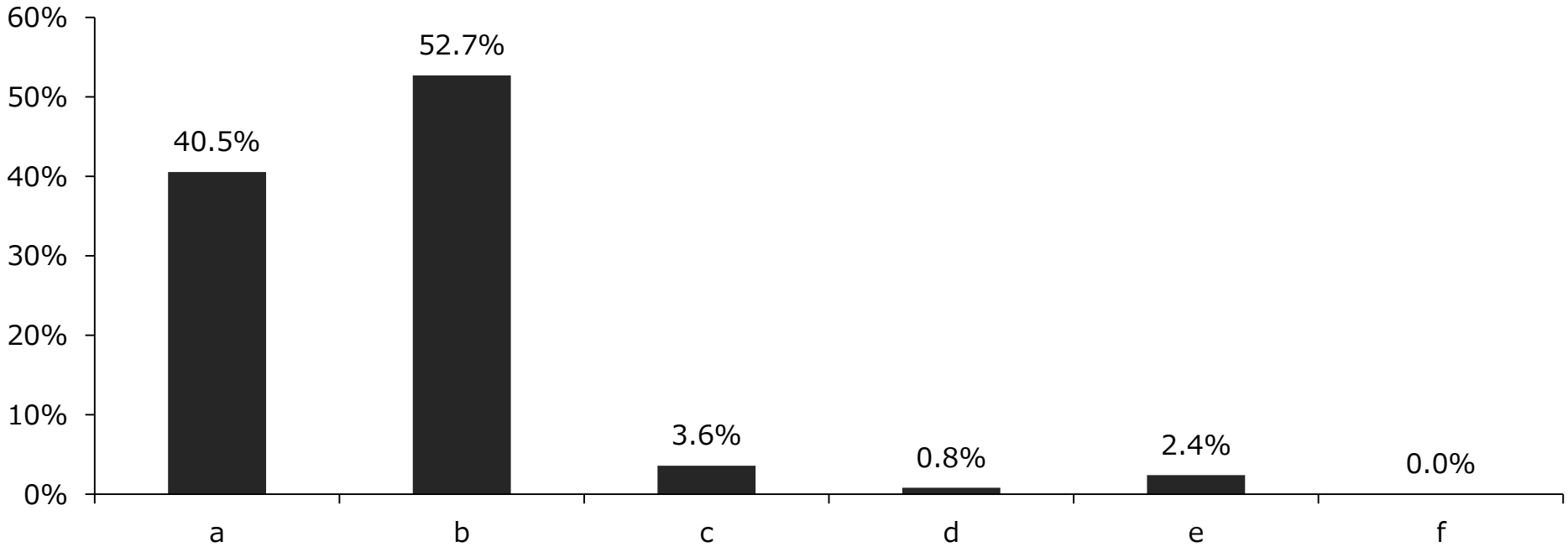
（回答数: 2020年度:506,2019年度:533,2018年度:529）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（2）新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ESGへの取り組みの重要性に変化はありましたか。（1つのみ選択可）

a. 以前から重要と認識しており、より重要性が増した
b. 以前から重要と認識しており、変化はない
c. 以前は重要と認識していなかったが、重要性が増した
d. 以前は重要と認識していたが、重要性が下がった
e. 以前から重要と認識しておらず、変化はない
f. 以前から重要と認識しておらず、より重要性が下がった



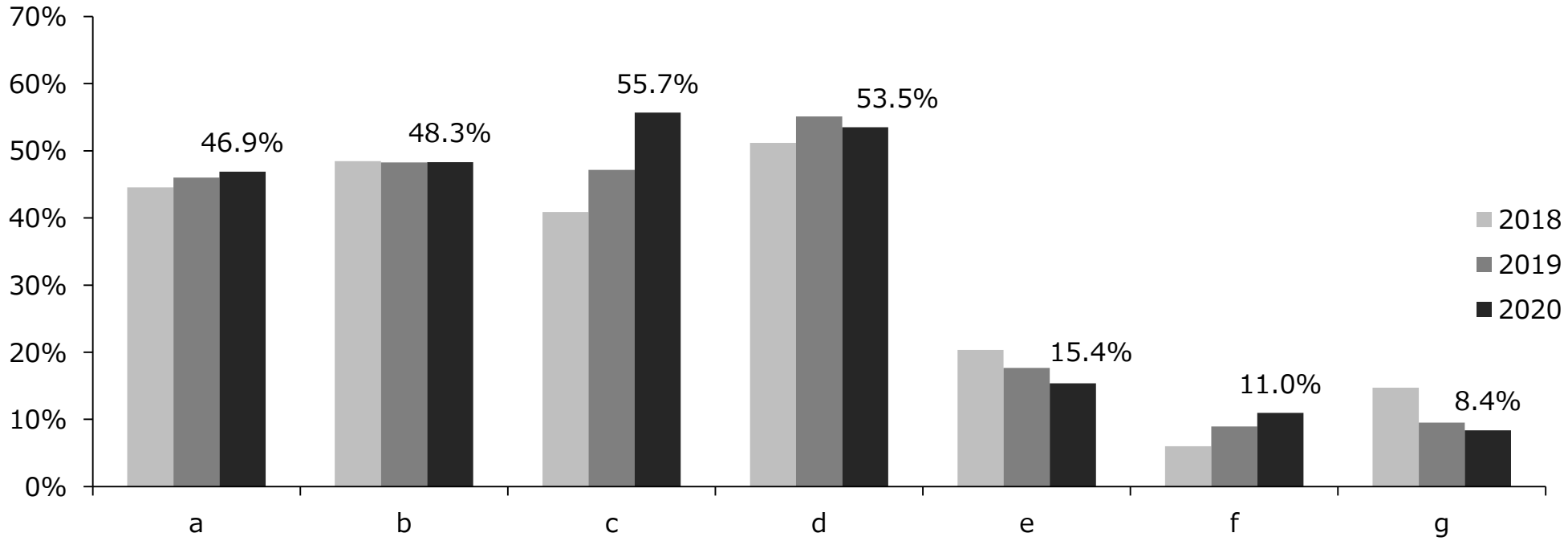
（回答数:2020年度:501）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（3）ESGへの取り組みをいずれの経営方針に組み込んでいますか。（複数選択可）

a. 経営理念
b. 行動指針
c. 中期経営計画
d. CSR方針
e. 内部統制方針
f. その他（具体的には　　）
g. いずれの方針にも組み込んでいない



（回答数:2020年度:501,2019年度:526,2018年度:516）

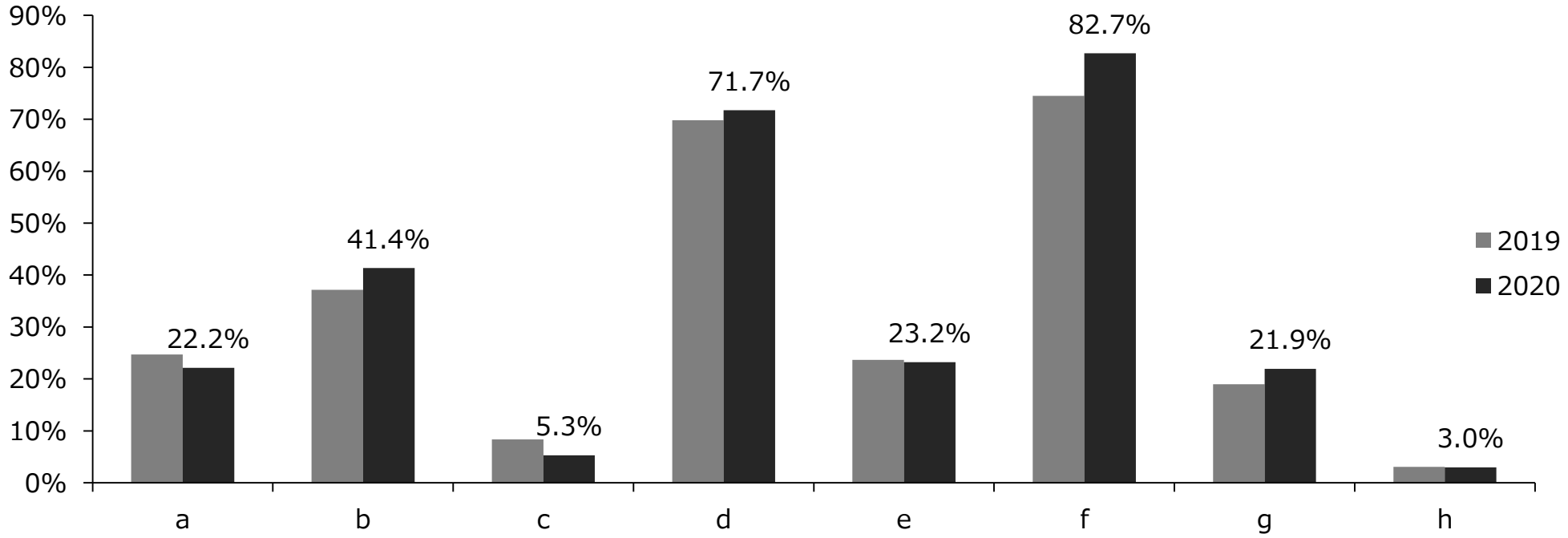
「その他」の回答例：長期ビジョン、マテリアリティ及び重要社会課題の設定、サステナビリティ方針、環境方針

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（4）（1）でa・b・cを選択された企業にお伺いします。ESGへの取り組みを実施する目的についてお答え下さい。（3つまで選択可）

a. ブランド力向上のため
b. ビジネスリスク抑制のため
c. 株価向上のため
d. 社会的な要請に応えるため
e. 投資家からの要請に応えるため
f. 持続可能な社会実現のため
g. 事業収益向上のため
h. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:474,2019年度:490）

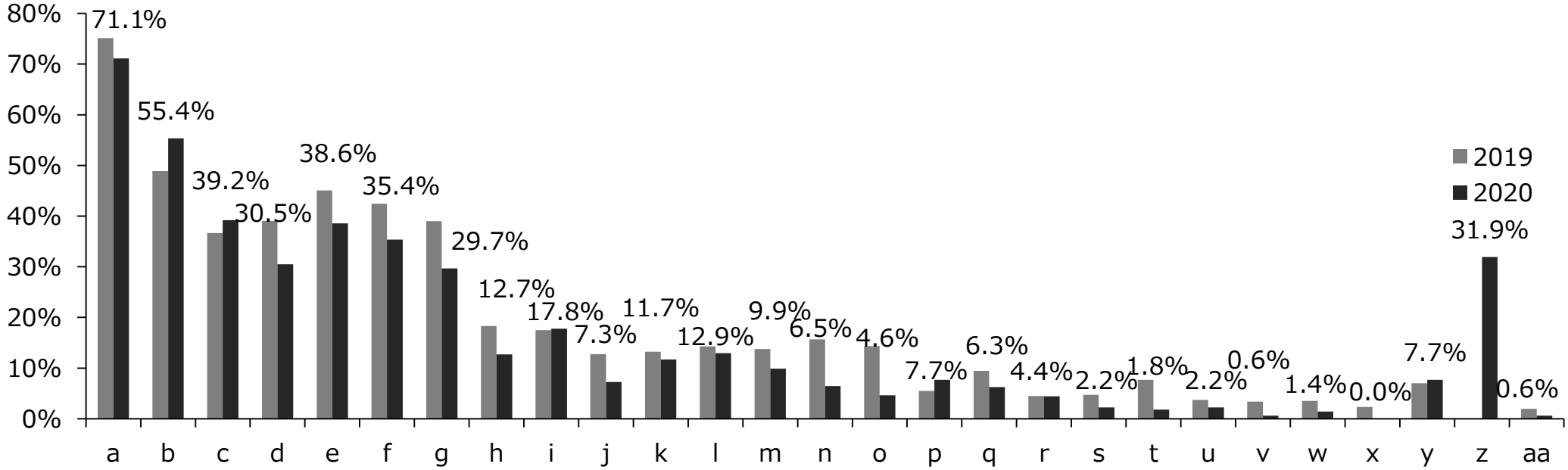
「その他」の回答例:企業価値向上のため

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（5）ESG活動における主要テーマをお答えください。（5つまで選択可）

a. コーポレート・ガバナンス
b. 気候変動
c. ダイバーシティ
d. 人権と地域社会
e. 健康と安全
f. 製品サービスの安全
g. リスクマネジメント
h. 情報開示
i. サプライチェーン
j. 取締役会構成・評価
k. 汚染と資源
l. 環境市場機会
m. 廃棄物管理
n. 労働基準
o. 資本効率
p. 水資源・水使用
q. 社会市場機会
r. 生物多様性
s. 森林伐採
t. 不祥事
u. 腐敗防止
v. 少数株主保護（政策保有等）
w. 紛争鉱物
x. 税の透明性
y. 海洋プラスチック
z. 働き方改革(※)
aa. ESG活動を行っていない



（回答数:2020年度:495,2019年度:483）

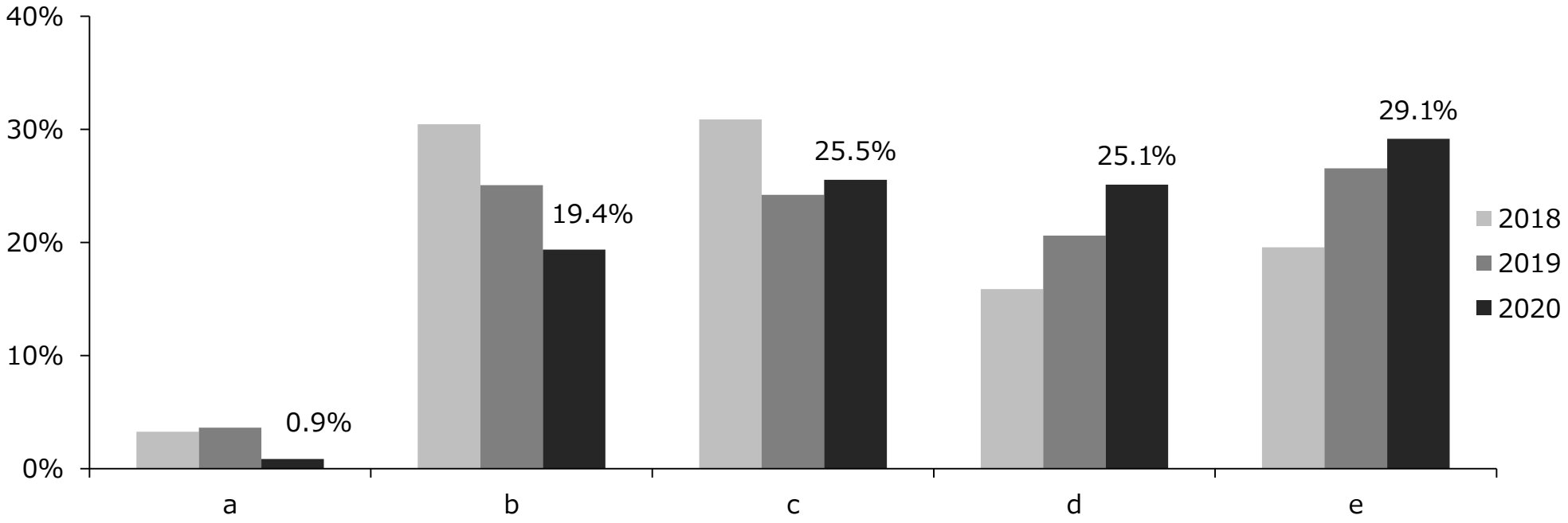
(※)2020年度より追加

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（6）ESGへの取り組みの実施にあたり、何年後を見据えた方針策定を行っていますか。
（1つのみ選択可、経営計画の期間に拘らずご回答下さい）

a. 1年後
b. 1年～3年未満
c. 3年～5年未満
d. 5年～10年未満
e. 10年以上



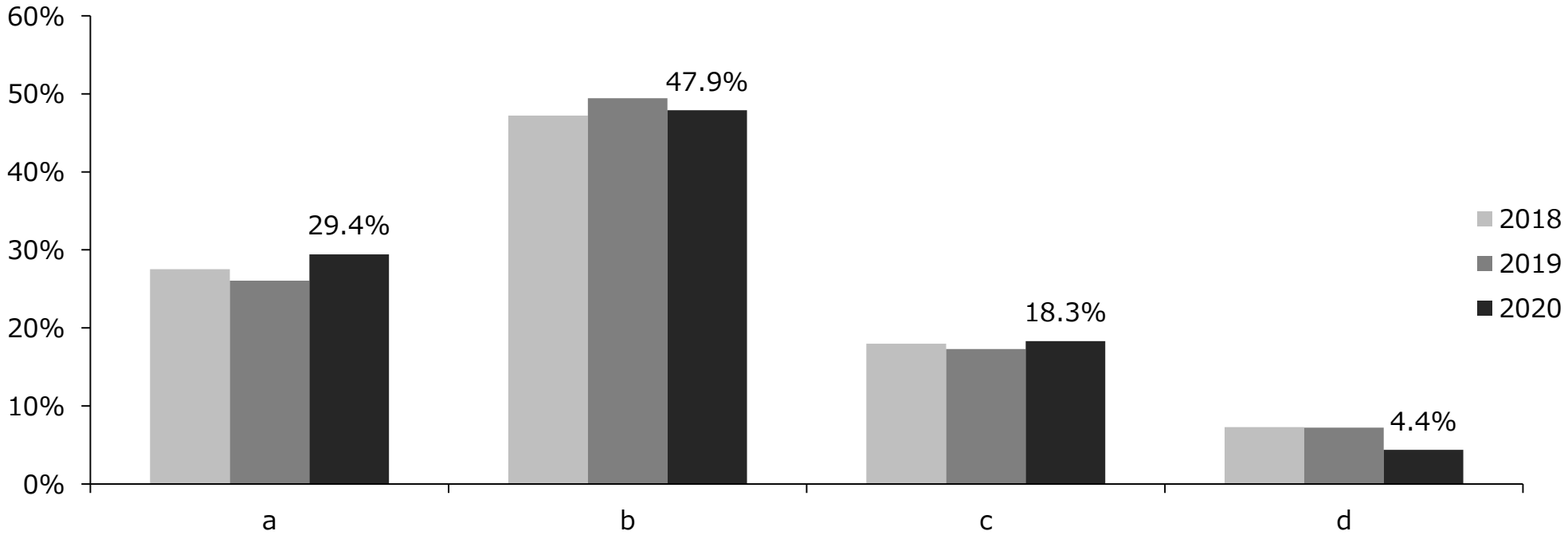
（回答数:2020年度:470,2019年度:471,2018年度:460）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（7）ESGへの取り組みについて情報を開示していますか。（1つのみ選択可）

a. 十分開示している
b. 一定程度開示している⇒（8）へ
c. あまり開示していない⇒（8）へ
d. 開示していない⇒（8）へ



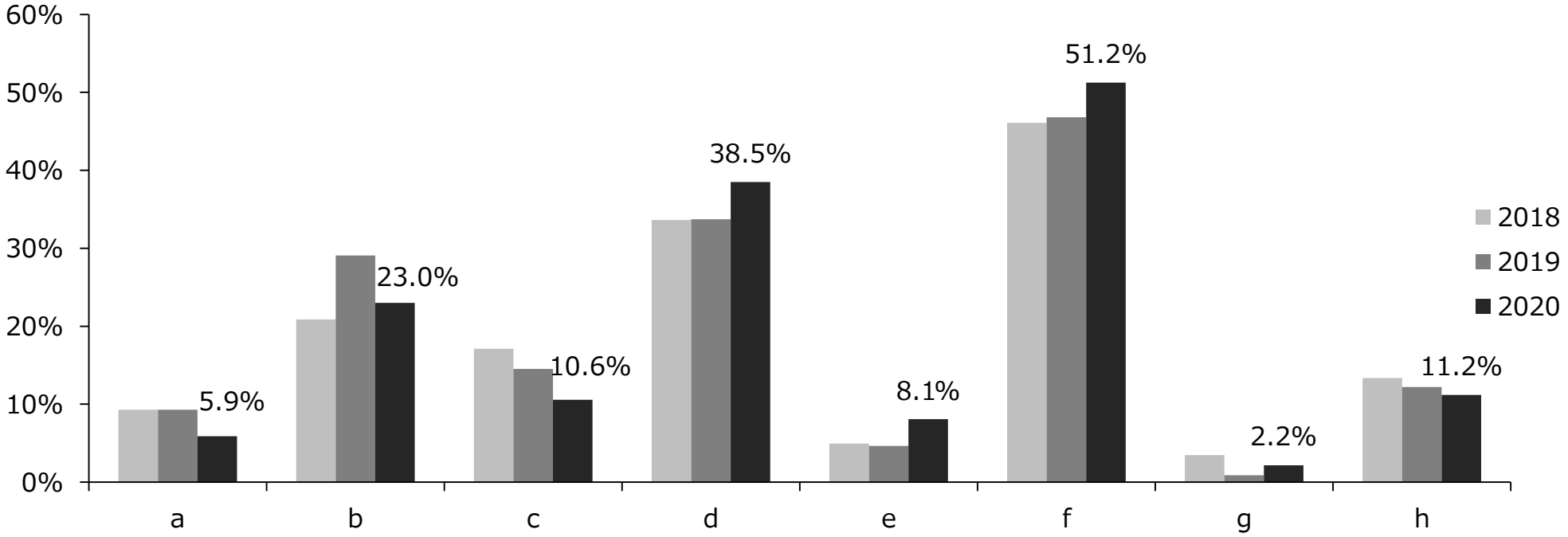
（回答数:2020年度:503,2019年度:526,2018年度:523）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（8）（7）でb・c・dを選択された企業にお伺いします。ESGへの取り組みについて情報開示が十分にできない理由についてお答え下さい。（2つまで選択可）

a. 適切な情報開示手段がわからない
b. 自社にとって重要なESG課題を特定できていない
c. 投資家の求める情報がわからない
d. 対応人員の不足
e. 予算の制約
f. ESG取り組み内容が情報開示するレベルに達していない
g. 情報開示の必要性を感じない
h. その他（具体的には　　）



（回答数: 2020年度:322,2019年度:344,2018年度:345）

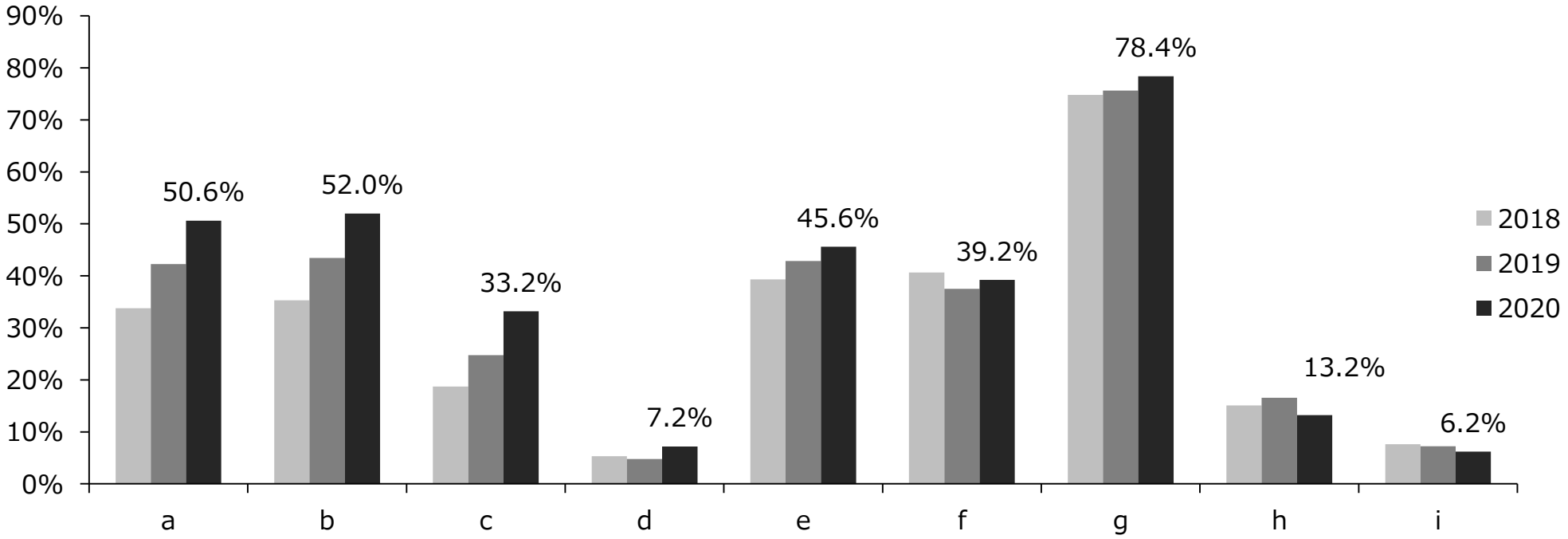
「その他」の回答例：ビジネスとの相関性が低い、 開示すべきデータの収集に課題がある、 ESG具体取り組みの検討中であり、今後開示拡充していく予定

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（9）ESGへの取り組みについて情報を開示している媒体をお答えください。（複数選択可）

a. 統合報告書
b. IR説明会資料
c. 有価証券報告書
d. 決算短信
e. コーポレート・ガバナンス報告書
f. CSRレポート・サステナビリティレポート
g. ホームページ
h. その他（具体的には　　）
i. 開示していない



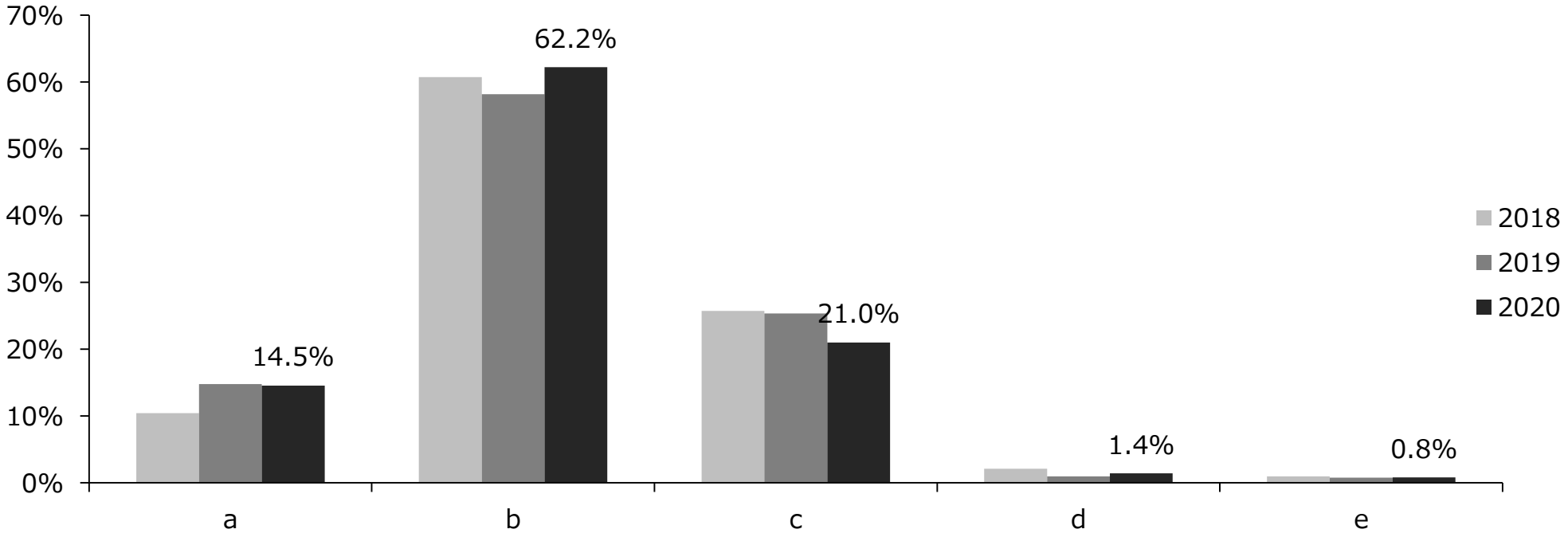
（回答数:2020年度:500,2019年度:525,2018年度:524）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（10）ESGへの取り組みについて情報を開示するうえで、投資家に求められている情報は何か、把握していますか。（1つのみ選択可）

a. 把握している
b. ある程度把握している
c. あまり把握できていない
d. まったく把握できていない
e. 開示しておらず、把握する必要がない



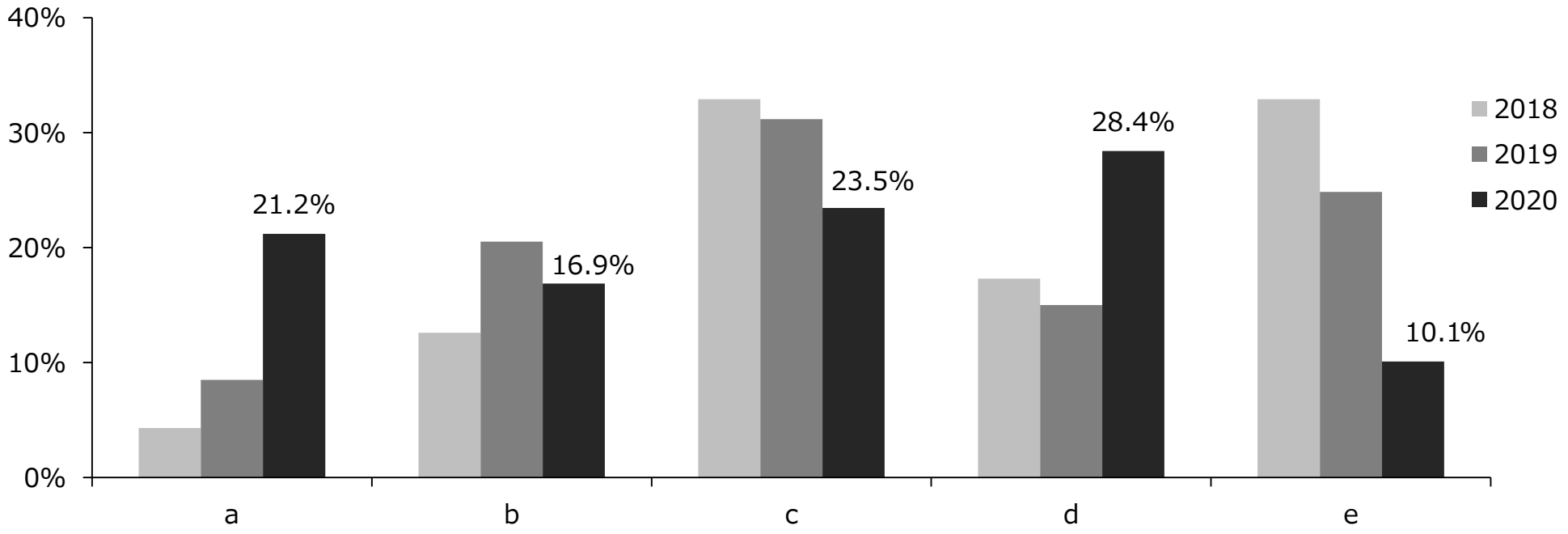
（回答数:2020年度:495,2019年度:521, 2018年度:517）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（11）TCFDに基づく気候変動関連情報の開示を検討していますか。（1つのみ選択可）

a. 既に開示している
b. 現在、開示に向けて検討中
c. 今後、開示に向けて検討する予定
d. 現在、開示する予定はない
e. TCFDについてよく知らない



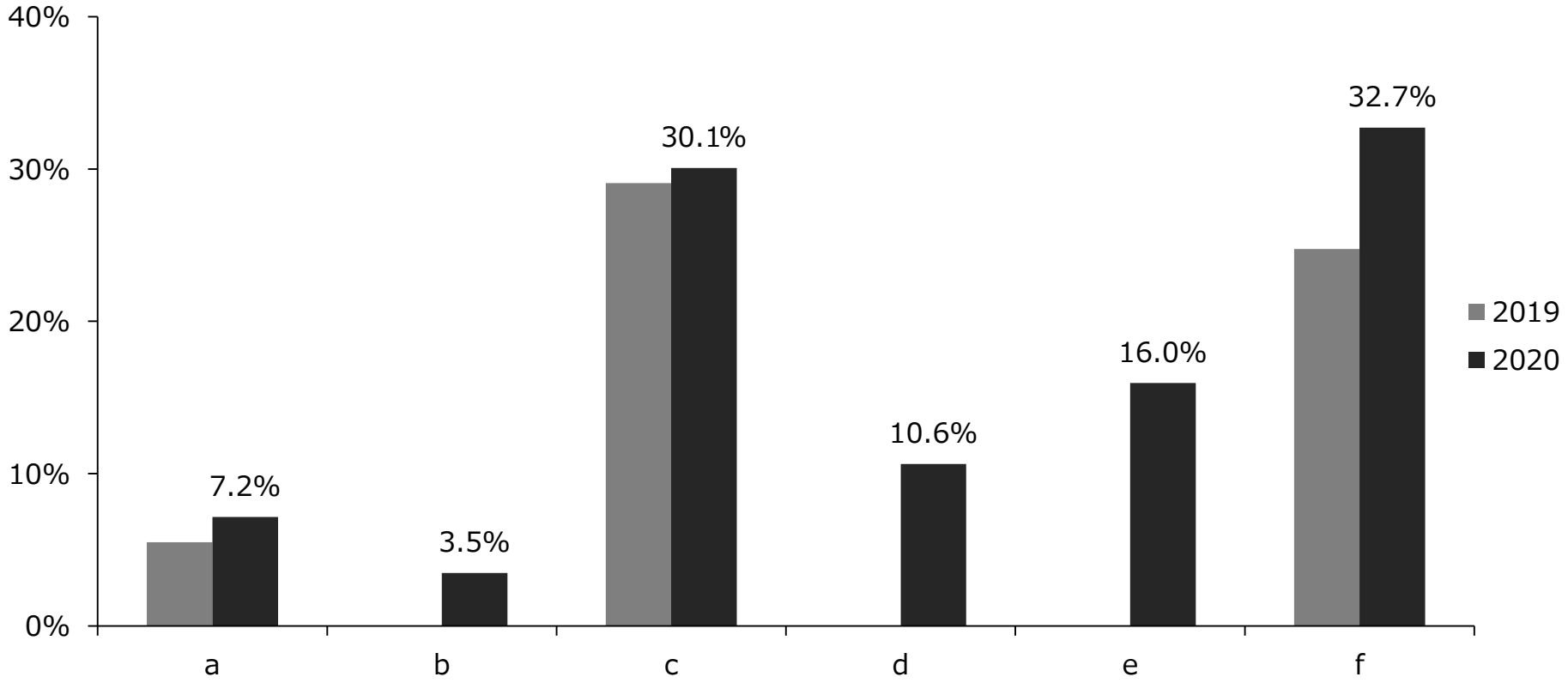
（回答数:2020年度:486,2019年度:507,2018年度:492）

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（12）海洋プラスチック問題について、何らかの対応をしていますか。（１つのみ選択可）

a. 具体目標を設定し、公表している
b. 具体目標は設定しているが、公表していない(※)
c. 具体目標は設定していないが、対応している
d. 現在、対応を検討中(※)
e. 今後、対応を検討する予定(※)
f. 現在、対応する予定はない



（回答数: 2020年度:489,2019年度:509）

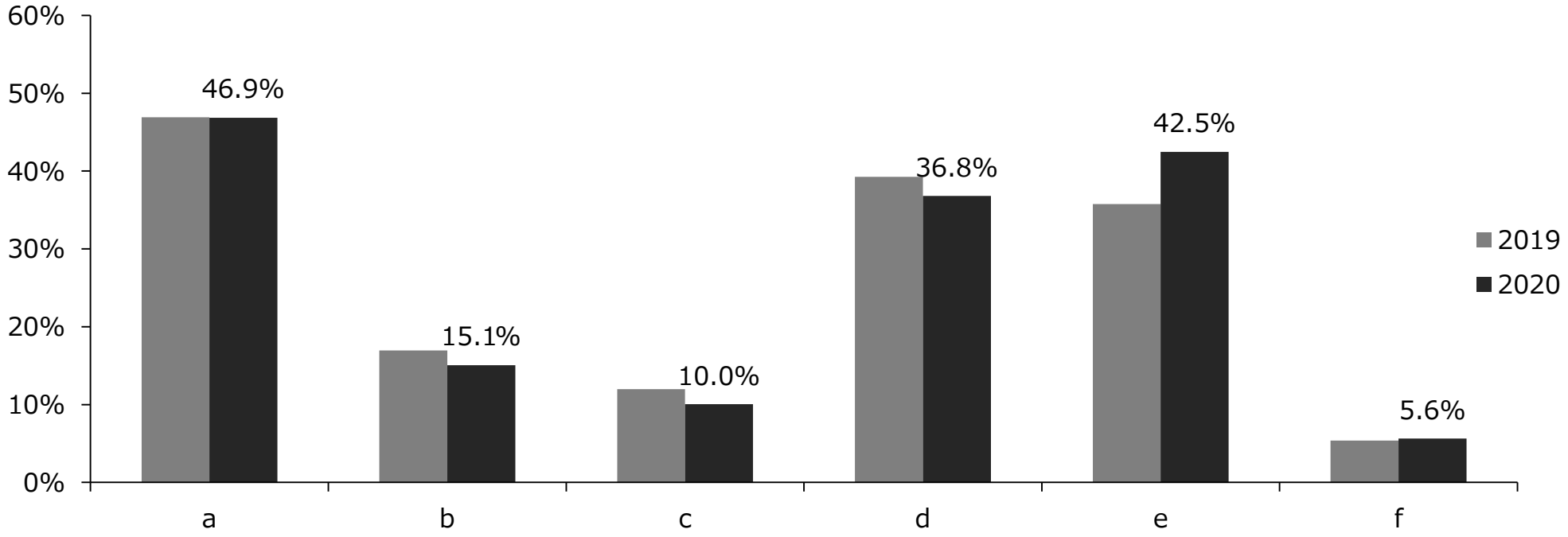
(※)2020年度より追加

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（13）ESGへの取り組みを推進するにあたって行政に期待することは何ですか。（２つまで選択可）

a. 情報開示のサポート
b. モデル企業の選定、表彰制度
c. 相談窓口の設置
d. 関連政策の立案における省庁間の連携強化
e. ガイドライン等の複線化防止に向けた対応
f. その他（具体的には　　）



（回答数:2020年度:478,2019年度:484）

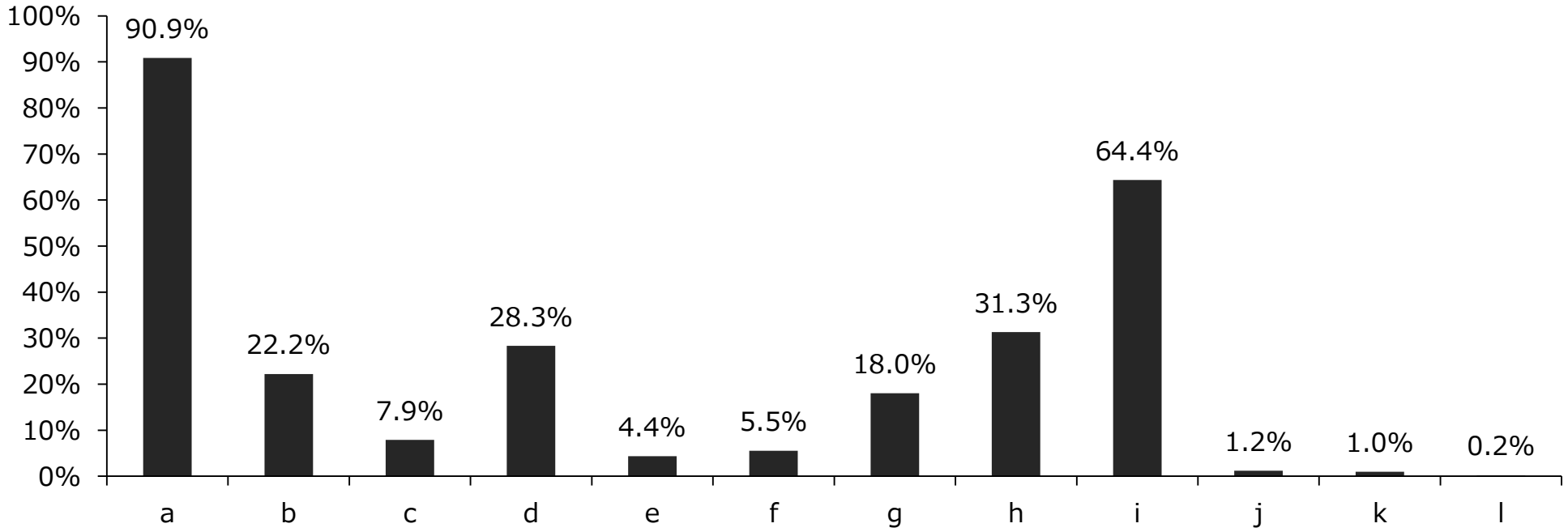
「その他」の回答例：補助金制度や支援制度の拡充、 開示項目、評価基準の統一

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「ESG」）への取り組みについてお伺いします。

一般社団法人 生命保険協会

（14）新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、働き方改革の面で重視する取り組みをお答えください。（3つまで選択可）

a. 勤務場所の柔軟化（テレワーク・在宅勤務など）
b. オフィス環境の整備（フリーアドレスなど）
c. サテライトオフィスの設置
d. 勤務時間の柔軟化（裁量労働制導入、週5日未満勤務など）
e. 新たな雇用形態の導入（ジョブ型雇用、時間限定正社員等）
f. 新たな目標管理制度の導入（成果に基づいた評価制度）
g. 勤務環境多様化に伴う、適正な勤務管理体制構築
h. 事務手続き等のオンライン化
i. 会議・営業活動のオンライン化
j. 福利厚生制度の充実
k. その他(具体的には　　)
l. 特にない・わからない



（回答数:2020年度:505）

「その他」の回答例：業務の効率化、時差出勤